

【国語】現代の国語 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編現代の国語」(現国701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○ルリボシカミキリの青 (随想) ○異なる種類の文章を読み比べよう ▼考えよう グラフや写真の読み取り方	・筆者の少年時代の体験について書かれた随想を読み、自分自身の興味や関心について考える。 ・複数の文章を読み比べ、文章の構成や論理の展開などについて理解する。 ・図表や画像から必要な情報を読み取る。
6	○評論の読み方 ○未来をつくる想像力(評論) ○水の東西	・評論文の文章構成を理解し、読解の基本をおさえる。 ・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に読み取り、筆者の主張を理解する。 ・「水」を巡る日本と西洋の文化を比較し、日本文化の特質について理解を深める。
7	○スキマが育む都市の緑と生命のつながり ○無彩の色	・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 ・色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。
10	○鍋洗いの日々 ○森で染める人 ▼考えよう 相手に応じた言葉の選び方	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・相手意識をもって言葉を選ぶ。

月	単元名	学習内容
11	○美しさの発見(評論) ○りんごのほっぺ	・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み,展開を論理的に捉え,筆者の価値観を理解する。 ・出来事の順序に着目しながら,戦時下の人々の状況と,一貫した筆者の思いを読み取る。
12	○不思議な拍手 ○真の自立とは	・人間の心・意義について体験を踏まえつつ考察する文章を読み,人間への認識を深める。 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み,自分の考えを持ち,視野を広げる

【国語】 言語文化 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編言語文化」 (言文701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○とんかつ ○柳あをめる【短歌】 ○雪の深さを【俳句】	・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。
6	○古文に親しむ (古文入門) ○うつくしきもの(枕草子) ○折々のうた	・古文のリズムや調子を知り、歴史的仮名遣いに慣れる。 ・作品の内容を自分と関連付けながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。
7	○訓読の基本 ○故事成語 ○漢詩の形式ときまり ○鹿柴	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の訓読に慣れ親しむ。
10	○短歌の読み方 ○俳句の読み方 ○雪の深さを【俳句】 ○羅生門	・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。
11	○伊勢物語(芥川・筒井筒)	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。

月	単元名	学習内容
12	○故事成語(五十歩百歩・虎の威を借る) ○絶句と律詩一七首(春望) ○論語	・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。 ・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 ・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。

【国語】 論理国語 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編論理国語」 (論国701)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○対話とは何か	・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。
	○世界をつくり替えるために	・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。
	○少女たちの「ひろしま」	・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。
	○「ふしぎ」ということ	・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。
6	○学ぶことと人間の知恵	文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。
	○ラップトップ抱えた「石器人」	・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。
	○思考の肺活量	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。
7	○安心について	・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。
	○弱肉強食は自然の摂理か	・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。
	○複数の「わたし」	・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。

月	単元名	学習内容
	○はじめに「言葉」がある ○楽に働くこと、楽しく働くこと	・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。 ・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。
10	○最初のペンギン ○豊かさとは生物多様性	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。
	○物語の外から ○カフェの開店準備	・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。
11	○鏡としてのアンドロイド ○ロボットが隣人になるとき ○言葉は「ものの名前」ではない ○科学的「発見」とは	・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。 ・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。
12	○知識における作者性と構造的性 ○もう一つの知性 ○ホンモノのおカネの作り方 ○未来のありか	・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。 ○科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。 ・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。

【国語】国語表現 学習指導計画

教科書	東京書籍「国語表現」(国表 702)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	<ul style="list-style-type: none"> ○分かりやすく説明しよう ○接続の言葉 ○同音異義語 ○分かりやすく説明しよう ○身体で表現しよう ○同訓異義語 ○対義語・類義語 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を考える。 ・学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を振り返って、状況に応じて使えるようにする。 ・基本となる順序を理解し、選択することができる。 ・自分の身体が表現しているものについて考えを深める。
6	<ul style="list-style-type: none"> ○「問い」を考えよう① ○電話のかけ方・メールの書き方 ○手紙の書き方 ○文の書き方 ○「問い」を考えよう② ○「問い」の活用 ○同訓異義語 ○四字熟語 	<ul style="list-style-type: none"> ・問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きくかわることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 ・実際のインタビューを想定し文章構成力や表現力を養う。

月	単元名	学習内容
7	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分」を表現しよう ○敬語表現 ○論理的な文章を書こう① ○対義語・類義語 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析の内容や第三者の意見もふまえて、客観的に「自分」を把握する。 ・志望理由書・履歴書の作成、模擬面接などで、相手に伝わるように「自分」を表現する。 ・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。
10	<ul style="list-style-type: none"> ○論理的な文章を書こう② ○思考ツール ○同訓異義語 ○話し合う力をつけよう ○情報の集め方 ○故事成語・ことわざ ○表現と読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・小論文を書くことを通して、与えられたテーマに対して自分の考えを明確にする力と、論理的で説得力のある文章を書く力を身につける。 ・合意形成を目的とする話し合いの展開パターンと、それを支えるファシリテーションの概念および基本的なスキルを学ぶ。 ・本を紹介したり、本の内容について対話したりする活動を通して、思考を深め、表現を豊かにする。
11	<ul style="list-style-type: none"> ○情報活用力を身につけよう ○情報の集め方 ○説得力のある提案をしよう ○同音異義語 ○三字熟語 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識を持ち、相手にとって有用な内容や理解しやすい表現を吟味する。 ・プレゼンテーションで心を動かすのに必要な身体表現（発声・身振り）や態度などについて学び、説得力のある表現について理解する。
12	<ul style="list-style-type: none"> ○表現を楽しもう① ○故事成語・ことわざ・慣用句 ○表現を楽しもう② ○レトリック ○助数詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句、短歌、エッセー、物語など、いろいろなジャンルの作品創作を通じて、言葉を用いて表現することを楽しむ。 ・読み手に伝わるよう、表現を効果的に工夫し、自分ならではの作品を創作する。 ・エッセー、物語などさまざまなジャンルの作品創作を通じて、言葉を用いて表現することを楽しむ。

【国語】文学の国語 学習指導計画

教科書	東京書籍『文学国語』（文 国701）	単位数	2単位
		学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント（レポート）、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して豊かさを自身や他者にもたらそうとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	○光の窓 ○雨月物語	・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ・筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。
6	○窓 ○言葉を生きる	・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 ・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。
7	○山椒魚	・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。
10	○鉄 ○硝子の駒—短歌抄 ○文学の未来	・詩に表現された事柄を捉え、日常の行動に込められた「わたし」の思いを読み取る。 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた情景や心情を読み取る。 ・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。
11	○あの朝 ○国語から旅立って	・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。

月	単元名	学習内容
12	○コンビニの母 ○夏の姿 ○金剛の露一俳句抄	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。 ・象徴的な表現が示している内容を理解し、描かれた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。

【地理歴史】 日本史探求 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「日本史探求」 (日探 701)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器時代の日本 ・縄文文化 ・弥生文化と小国家の形成 ・先史・古代の歴史を組み立てる資料の特質 ・東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史 ・木簡が語る律令国家の実態 ・大和王権と古墳文化 ・飛鳥の朝廷と文化
5	第3章 古代社会の形成と展開 2節 摂関政治と貴族文化	<ul style="list-style-type: none"> ・律令国家の形成と白鳳文化 ・出雲国意宇郡中心部の古代の景観 ・平城京と天平文化 ・奈良時代の貴族と庶民 ・平安遷都と唐風文化 ・貴族社会と摂関政治 ・古代・中世の日本の玄関口 博多 ・国風文化 ・長期留学の経験をいかした二人の若者
6	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷	<ul style="list-style-type: none"> ・朝廷政治の変容 ・武士の政治進出 ・武家権力による日本社会の変容 ・厳しい自然環境での人々の生存戦略 ・中世日本の国際交流 ・鎌倉幕府の誕生 ・伯耆国東郷荘

月	単元名	学習内容
	2節 武家支配の広がり と国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・執権による政治 ・モンゴル襲来と社会の変貌 ・鎌倉の仏教と文化 ・全国に展開する御家人の所領 ・南北朝の動乱と室町幕府の成立 ・倭寇と東アジア国際交流 ・室町時代の社会と経済活動 ・自治都市としての堺 ・自立する戦国大名 ・自力救済の抑制—暴力の連鎖を断ち切るために ・室町文化 ・狂言がものがたる中世社会 ・中国滞在を経て自信を強めた禅僧画家 雪舟
7	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の 展望 第3章 近世社会の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的世界の形成と日本 ・海を渡った安土の屏風 ・織豊政権による全国統一 ・桃山文化 ・参勤交代と幕藩体制 ・百姓たちの生活世界 ・江戸時代の対外関係 ・江戸幕府と大名・朝廷 ・近世の身分と人々の暮らし ・江戸時代の村の生活 ・アジアのなかの幕藩体制 ・城下町 飯田 ・武断政治から文治政治へ ・幕藩体制下の社会の発展
9	2節 近世社会の成熟と幕 藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・享保の改革と経済の発展 ・四国の農書 ・近世社会の成熟と危機の始まり ・幕藩体制の立て直し ・幕藩体制の動揺 ・ロシアと単独交渉 高田屋嘉兵衛
10	第4編 近現代の地域・日 本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代 の展望 第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と 新しい国際関係 2節 国民国家と資本主義 の成立 3節 両大戦間期の日本 4節 第二次世界大戦と日 本	<ul style="list-style-type: none"> ・開国と開港 ・幕府の崩壊と明治維新 ・資本主義の発展と生活 ・国民国家と政治参加 ・世界のなかの近現代日本 ・制度改革と殖産興業政策 ・文明開化と教育制度の整備 ・東アジア世界のなかの明治政府 ・岩倉使節団 ・政府専制への批判 ・立憲政治の成立 ・福島県喜多方市域の変遷 ・対外関係の変容と日清戦争 ・産業革命と資本主義の定着 ・義務教育が定着したのはいつか？

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・教育制度の整備と新しい文化 ・日露戦争と帝国日本 ・日露戦争後の社会と政治 ・都市化・重工業化と生活の変化 ・新潟の米づくりと近代農業技術 ・政党政治とデモクラシー ・国際社会のなかの日本 ・昭和恐慌と立憲政治の動揺 ・中国侵略と戦時体制への移行 ・戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開 ・沖縄戦
12	5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題 4章 現代の日本の課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・占領と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と経済復興 ・国際社会への復帰と対米協調 ・高度経済成長 ・戦後の子どもの世界 ・旧軍用地の戦後 ・1970年代の国際社会と日本 ・安定成長への転換 ・戦後日本の保守と革新 ・激変する世界と日本 ・21世紀の日本 ・日本人初と2番目のノーベル賞受賞者 ・社会や集団と個人 ・世界のなかの日本 ・伝統や文化の継承と創造

【地理歴史】世界史探究 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「世界史探究」 (世探 701)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	序章——世界史へのまなざし 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	・茶と世界史 ・地球と人類の誕生 ・諸地域の歴史的特質への問い ・農業と気候 ・古代オリエントとエーゲ海地域 ・南アジアの古代文明 ・東アジアにめばえた文明
5	第2章 西アジアと地中海周辺	・古代オリエントの統一 ・古代ギリシアとヘレニズム世界 ・ローマ帝国と地中海世界 ・古代末期の社会と地中海世界の解体 ・地中海世界とアジア ・2世紀の世界 ・イスラーム世界の成立 ・中世初期の東西ヨーロッパ
6	第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア 第6章 アフリカ, オセアニア, 古アメリカ 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の	・南アジアにおける国家形成 ・インド世界の形成 ・海の道の形成と東南アジア ・東南アジア諸国家の再編成 ・古代帝国の誕生 ・古代における貨幣は、どのような意味をもっていたのだろうか ・中国の分裂と多様化 ・隋唐帝国と東アジア ・草原地帯のトルコ化とイスラーム化 ・8世紀の世界 ・アフリカ

月	単元名	学習内容
	拡大と繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア ・古アメリカ ・諸地域の交流・再編への問い ・イスラーム世界の発展 ・イスラーム文明
7	第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化	<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ社会の展開 ・中世西ヨーロッパ社会の成熟 ・中世ヨーロッパの文化 ・中世ヨーロッパ社会の再編 ・ルネサンス ・レコンキスタ完成でスペイン社会はどのように変わったのだろうか ・唐の崩壊後の東アジア ・宋代の新展開 ・モンゴル帝国 ・元の成立 ・イスラームのインドとインド洋海域への浸透 ・海と陸の結合 —— 東南アジア世界の発展 ・アジア交易圏の再編と活況 ・ポルトガルのアジア進出 ・明と日本・朝鮮の動向 ・一体化に向かう世界 ・大交易時代の世界
9	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・中央アジアと西アジアの繁栄 ・インドの大国 —— ムガル帝国 ・清と東アジア ・17世紀の世界 ・主権国家群の形成と宗教改革 ・宗教改革はどのように人々に受けとめられたのだろうか ・オランダの繁栄と英仏の国家形成 ・商業覇権と植民地建設 ・啓蒙専制国家の発展 ・近世ヨーロッパの社会と文化
10	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・一体化していく世界への問い ・産業革命と工業化 ・アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 ・フランス革命とウィーン体制 ・自由主義の台頭と新しい革命の波 ・19世紀後半のヨーロッパ諸国 ・南北アメリカの発展
11	第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 第17章 第一次世界大戦の展開と諸国の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・産業資本主義の世界への波及と欧米社会 ・西アジアの危機と改革のはじまり ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・清における開発の限界と二つのアヘン戦争 ・列強の覇権争い ・西アジア・中央アジアの変革 ・南アジア・東南アジアの民族運動 ・清の体制転換と近代国家建設の模索 ・19世紀後半の世界

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 ・大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ ・アジア・アフリカでの国家形成の動き ・世界恐慌と政治経済の変容 ・国際協調体制の動揺 ・第二次世界大戦の開戦と展開 ・イギリスとフランスはなぜ宥和政策をとったのだろうか ・戦後秩序構想と冷戦の形成 ・ドイツの人々はナチスをどのようにとらえたのだろうか
12	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第4編 グローバル化と地球的課題 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会 21世紀の地球的課題と世界史	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 ・帝国の解体と分断国家の形成 ・アジア諸国の独立と脱植民地化 ・朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」 ・冷戦と政治・経済秩序 ・アジア・アフリカ諸国の独立と第三勢力 ・平和共存と社会主義圏の多極化 ・アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容 ・冷戦の変容と世界の諸地域 ・冷戦の終結とその後の世界 ・アメリカ合衆国の復調とグロー1 グローバル化にともなう世界の変容 ・地球的諸課題 ・新たな秩序変容バル化

【地理歴史】 地理探求 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「地理探求」(地探 701)	単位数	4単位
		学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。
- ②①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。
- ③①, ②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付けます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 第1節 世界の地形	<ul style="list-style-type: none"> ・地形をつくる力 ・プレートの運動とさまざまな境界 ・変動帯の地形 ・安定陸塊(安定地塊)の地形 ・河川がつくる地形 ・海岸と海にみられる地形 ・気候や地質の影響が強い地形 ・自然災害Ⅰ:地震と津波
5	第2節 気候と自然環境 第3節 気候と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> ・気候の見方 ・大気大循環と気候 ・海洋と陸水 ・世界の植生・土壌 ・ケッペンの気候区分 ・熱帯の特徴と人々の生活 ・乾燥帯の特徴と人々の生活 ・温帯の特徴と人々の生活(1) ・温帯の特徴と人々の生活(2) ・亜寒帯(冷帯)・寒帯の特徴と人々の生活 ・高山気候の特徴と人々の生活 ・自然災害Ⅱ:異常気象と気候変化
6	第4節 日本の自然環境と自然災害 第5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 第1節 産業の発展と社会的分業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形と自然災害 ・日本の気候と自然災害 ・自然災害と防災・減災の取り組み ・地球規模の環境問題 ・地球温暖化の背景と影響 ・オゾンホール, 大気汚染の背景と影響 ・森林破壊の背景と地域性 ・砂漠化・水問題の背景と地域性 ・日本の環境問題

月	単元名	学習内容
	第2節 農林水産業 第3節 食料問題 第4節 エネルギーと鉱産資源	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の変遷 ・産業構造と地域構造 ・農業の立地と形態 ・世界のさまざまな農業地域 ・グローバル化と農業地域の変容 ・拡大する世界の農産物流通 ・世界の林業・水産業 ・日本の農林水産業 ・食料問題の背景と地域性 ・食料問題の解決に向けて ・日本の食料問題 ・世界のエネルギー需要 ・化石燃料 ・電力生産 ・金属資源
7	第5節 資源・エネルギー問題 第6節 工業の立地と工業地域の変容 第7節 第三次産業 第3章 交通・通信・貿易・観光 第1節 交通・通信 第2節 貿易と経済連携 第3節 観光 第4章 人口、村落・都市 第1節 人口	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料への依存と国家間の対立 ・化石燃料から再生可能エネルギーへ ・日本の資源・エネルギー問題 ・工業の立地と工業地域 ・繊維・鉄鋼・石油化学 ・自動車・エレクトロニクス ・新しい技術と工業 ・グローバル化と工業地域の再編 ・工業の知識集約化 ・日本の工業とその変容 ・サービス経済化の進展と流通産業の発達 ・情報通信業とその集積 ・医療・福祉産業の課題 ・交通の発達(1) ・交通の発達(2) ・情報通信技術の発達 ・貿易の自由化と経済連携 ・現代貿易の課題 ・観光の発達と地理的展開 ・さまざまな観光 ・世界の人口分布と人口増加 ・人口動態とピラミッド ・人口移動の変遷と今日の姿
9	第2節 人口問題 第3節 村落・都市 第4節 居住・都市問題 第5章 生活文化、民族・宗教 第1節 生活文化の地域性	<ul style="list-style-type: none"> ・発展途上国の人口問題 ・先進国の人口問題 ・村落の機能と形態 ・都市の機能と都市システム ・都市の内部構造と大都市圏 ・発展途上国の居住・都市問題 ・先進国の居住・都市問題 ・日本の居住・都市問題 ・文化と環境 ・世界の食生活

月	単元名	学習内容
		・世界の住居・衣服
10	第2節 民族・言語・宗教 第3節 民族問題 第4節 現代の国家と領土問題 第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第1節 地域区分の意義と方法	・世界の民族と言語 ・世界の宗教 ・世界の多様な民族問題 ・紛争と難民 ・民族問題をどう乗り越えるか ・国家の領域と国境線 ・領土問題の要因と解決への取り組み ・地域区分の意義 ・さまざまな地域区分の方法 ・地域の考察方法
11	第2章 現代世界の諸地域 第1節 東アジア―項目ごとに整理して考察する― 第2節 東南アジア―項目ごとに整理して考察する― 第3節 南アジア―経済成長に着目する― 第4節 西アジアと中央アジア―二つの地域を比較する― 第5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ―二つの地域を比較する― 第6節 ヨーロッパ―地域統合に着目する―	・中国の改革開放と急速に進む工業化 ・中国の農業・農村の近代化と都市化 ・環境問題などの課題 ・経済成長により広がる中国の影響力 ・韓国の経済成長と地域構造 ・韓国の都市・農村の変化と生活文化 ・東南アジアの多様な文化 ・東南アジアの地域性と農業 ・ASEANの政治と経済発展 ・国家間の格差などの課題 ・グローバル化と南アジアの経済発展 ・大都市の形成と格差の問題 ・インドの人口増加と農村の変化 ・南アジア世界の多様性と統一性 ・交易の歴史と人々の生活 ・乾燥地に適応した生活文化と宗教 ・資源開発にみられる二つの地域の違い ・多様な文化の成り立ち ・モノカルチャー経済克服の課題 ・アフリカの発展と新たな課題 ・ヨーロッパ統合の流れ ・ヨーロッパの農業とその変容 ・ヨーロッパの産業とその変容 ・EUの拡大と地域格差 ・揺らぐ「一つのヨーロッパ」
12	第7節 ロシア―項目ごとに整理して考察する― 第8節 アングロアメリカ―項目ごとに整理して考察する― 第9節 ラテンアメリカ―項目ごとに整理して考察する― 第10節	・多様な民族と宗教 ・ポスト社会主義時代の暮らし ・周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化 ・アングロアメリカの農業 ・多民族社会がかかえる問題 ・世界最大のアングロアメリカ経済 ・先端産業の発展と鉱工業地域の変化 ・情報社会に移行する大都市圏 ・ラテンアメリカの成り立ち ・ラテンアメリカの産業の発展と経済成長

月	単元名	学習内容
	オセアニア—項目ごとに整理して考察する— 第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 第1節 日本の地理的諸課題を読み解く 第2節 持続可能な国土像の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・森林破壊などの問題 ・多文化共生の課題 ・オセアニアの資源と産業 ・オセアニアと他地域との結び付き ・北極・南極 ・日本の地域構造 ・日本の国土政策 ・課題と仮説の設定 ・仮説の検証と考察,さらなる探究へ

【地理歴史】 地理総合 学習指導計画

教科書	東京書籍「地理総合」(地総 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1 年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
- ②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。
- ③地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○地軸の傾きや自転・公転による影響を理解します。 ○地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考えます。 ○地図にはさまざまな種類が存在することについて理解します。 ○地球を平面の地図では正確に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考えます。 ○日本の位置と領域について理解します。 ○排他的経済水域について理解し、その重要性について考えます。 ○私たちの生活にさまざまな地図が利用されていることを理解します。 ○多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考えます。
5	第2章 地図や地理情報システムの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○地形図から読み取れることについて理解します。 ○地理院地図の特徴を理解し、紙の地形図との違いについて考察します。 ○主題図にはさまざまな表現方法があることを理解します。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けるのかを考察します。 ○地理情報システム(GIS)が幅広い分野で使われていることについて理解します。 ○GISとは何かを理解し、私たちの生活への影響を考えます。
6	第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と	<ul style="list-style-type: none"> ○交通手段の多様性とその長所・短所について理解します。 ○交通手段の発達による生活の変化を考えます。 ○通信情報技術(ICT)の発達について理解します。 ○通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考えます。 ○国境をこえる人々の動きについて理解します。 ○どのような理由で人々がどこからどこへ移動するかを考えます。

月	単元名	学習内容
	多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の貿易とさまざまな地域経済圏について理解します。 ○国際分業と産業の変化について考えます。 ○国家間のさまざまな結び付きとその役割について理解します。 ○多極化する世界の変化について考えます。 ○地域によって文化が異なる理由について理解します。 ○文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解します。 ○世界の宗教の分布について理解します。 ○宗教ごとに特徴的な生活習慣や規範があることを理解します。
7	2節 生活文化と自然環境 ①地形 ②気候	<ul style="list-style-type: none"> ○山地におけるさまざまな暮らしの工夫について理解します。 ○山地における自然的、文化的なめぐみに気づき、その利用について理解します。 ○河川がつくる平野の小地形について理解します。 ○宅地化による伝統的な土地利用の変化が、どのような影響をもたらしているかを理解します。 ○さまざまな海岸の地形とその利用について理解します。 ○海岸の地形が自然的、人為的要因によって変化していることを理解します。 ○大気の大循環によって生じる気圧帯について理解します。 ○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考えます。 ○熱帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○熱帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。 ○乾燥帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○乾燥帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。 ○温帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○温帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。 ○亜寒帯・寒帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○亜寒帯・寒帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考えます。
8	4節 生活文化と産業	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の面から、食生活の地域差について理解します。 ○社会環境の面から、農業形態の地域差について理解します。 ○食文化に多様性が生じる理由について理解します。 ○工業立地について理解します。 ○労働集約的な工業の立地が移動する理由を理解します。 ○新興工業国と先進国との工業に違いが生じる理由について理解します。 ○商業の立地の違いについて理解します。 ○インターネットの普及により、商業にどのような変化が生じたのかを理解します。 ○通信産業の発展による世界の変化、産業の情報化について理解します。

月	単元名	学習内容
		す。 ○情報化社会における働き方について考えます。
10	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題	○環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解します。 ○生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考えます。 ○森林の減少や砂漠化の進行について理解します。 ○森林の減少や砂漠化が人間の活動によって引き起こされていることを理解し、改善に向けた取り組みを考えます。 ○資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解します。 ○新興国のエネルギー需要の増加を理解し、資源をめぐる対立が生じる要因を考えます。 ○エネルギー資源の種類について理解します。 ○再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を考えます。
11	3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	○18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解します。 ○発展途上国が抱える人口問題を理解し、その要因・影響を考えます。 ○先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解します。 ○少子高齢化対策として先進国で行われている取り組みを理解し、その成果や課題を考えます。 ○食料問題が生じる背景について理解します。 ○食の安全に関する問題について知り、その対策について理解します。 ○発展途上国で進む都市人口の増加の背景を理解します。 ○発展途上国の大都市における生活や都市環境の変化から居住問題について理解します。 ○先進国の都市化と郊外化、そして都市再開発までの動きとそれぞれの背景について理解します。 ○先進国の居住・都市問題を郊外化や都市再開発から考えます。 ○ヨーロッパで起こった難民危機を手がかりに、難民と民族問題について理解します。 ○難民が発生する原因や、民族問題の背景について考えます。 ○地球規模で取り組むべき課題が、相互に関連しあっていることを理解します。 ○先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考えます。
12	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境の特色 2節 さまざまな自然災害と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	○日本の地形の特徴について理解します。 ○日本の地形の特徴が河川や海岸の特徴にどのような影響を与えているかを理解します。 ○日本の春夏秋冬それぞれの季節を特徴づける天候・気候の要因を理解します。 ○日本各地の地域ごとの気候の特徴を理解します。 ○プレート境界地震とプレート内地震の違いについて理解します。 ○震源の位置や土地の条件によって、引き起こされる被害に違いがあることを理解します。 ○過去の災害の記録が今後の災害の軽減につながり得ることを理解しま

月	単元名	学習内容
		<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップを利用し、身近な地域の自然災害の可能性を読み取ります。 ○日本列島において火山活動が活発な理由を理解します。 ○火山活動にともなう災害の種類を理解します。 ○火山活動が関係するさまざまなめぐみを理解します。 ○季節によって発生しやすい気象災害とその特徴について理解します。 ○季節によって発生しやすい気象災害の要因・影響について考えます。 ○大雨や集中豪雨によって発生する洪水災害は、どのように発生するのか、その原因を理解します。 ○土砂災害の発生のメカニズムを理解し、どのような場所が被害を受けやすいかを考えます。 ○都市型災害にはどのようなものがあるかを理解します。 ○そのうえで、都市型災害の要因・影響を考え、都市型災害が発生した際にどのような行動をとるべきかを考えます。 ○大規模災害への対応について、自助・共助・公助の視点からどのようなことが行われているか理解します。 ○これまでの災害の教訓を生かし、特に、自助・共助に関して、どのような対策を講じていくべきかを考えます。 ○身近な地域の変遷を新旧地形図の読み取りなどから理解します。 ○身近な地域の課題に対して異なるスケールを織り交ぜて考察し、調査テーマを設定します。 ○身近な地域の情報を得るためのさまざまな手段と注意点を理解します。 ○身近な地域で生じている課題の要因をさまざまな角度から分析し、仮説を設定します。 ○野外調査の目的に応じた方法を理解します。 ○野外調査を計画し、実施に向けた準備をします。 ○地域調査のまとめ方について理解します。 ○調査結果に応じた、まとめ方や発表形式を選択し、身近な地域の課題解決に向けた発表の準備を行います。

【地理歴史】 歴史総合 学習指導計画

教科書	東京書籍「新選歴史総合」 (歴総 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い	○諸資料を活用し、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 ○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ○前近代の歴史について、中学校での学習内容を振り返り、次の学習につなげる。 ○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。
5	2節 結び付く世界と日本の開国 3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題	1 18世紀の東アジア 前近代の世界 1 日本の幕藩体制と身分制社会 前近代の世界2 東アジアの伝統的な華夷秩序 2 結び付くアジア諸地域 前近代の世界 3 イスラーム世界におけるカリフと秩序 前近代の世界 4 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成 3 18世紀のヨーロッパとアジア 歴史のまなざし アジアの美、追いかけるヨーロッパ 前近代の世界 5 世界をめぐる銀の流れ

月	単元名	学習内容
		歴史の舞台 ラテンアメリカ 4 産業革命のはじまり 5 世界市場の形成 6 東アジア国際関係の変化と日本の開国 7 世界経済の変化と日本の産業革命 資料からよみとる 絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう
6	3節 国民国家と明治維新	1 市民革命と近代社会 2 自由主義とナショナリズム 3 アジアの諸国家とその変容 4 明治維新と東アジアの国際関係 歴史のまなざし アイヌと琉球・沖縄 5 立憲制の広まり 6 帝国主義と植民地 歴史のまなざし アフリカの分割と自立 歴史の舞台 オセアニア 7 日清戦争と華夷秩序の解体 8 帝国主義諸国の競合と国際関係 9 植民地支配と植民地の近代 10 20世紀はじめの世界 生活と文化 近代化
7	第3章 国際秩序の変化や 大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大 衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大 衆社会	1 大衆社会の時代 2 第一次世界大戦の展開 3 国際協調体制の形成 4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義 5 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 6 アジアの経済成長と移動する人々 歴史の舞台：東南アジア 資料からよみとる：風刺画から国際状況をよみとろう 7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 8 民主主義の拡大と社会変革の動き 9 マスメディアの発達と日常生活
9	3節 経済危機と第二次世界大戦	1 世界恐慌 歴史のまなざし：国際金本位制とブレトン・ウッズ体制 暮らしのなかの歴史：イヌと私たち 2 アジア・アフリカと大衆社会 3 国際協調体制の崩壊 4 日中戦争と深刻化する世界の危機
10	第4章 グローバル化と私 たち 1節 グローバル化への問 い	5 第二次世界大戦の勃発 6 第二次世界大戦における連合国と戦後構想 7 アジア太平洋戦争と日本の敗戦 8 連合国の占領政策と冷戦 歴史のまなざし：日本とドイツの戦後

月	単元名	学習内容
	2節 冷戦と世界経済 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	歴史のまなざし:戦争と記憶 9 再編されるアジアと冷戦 生活と文化:大衆化
11	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済	1 冷戦の拡大と第三勢力 2 キューバ危機と核兵器の管理 3 脱植民地化の進展と地域紛争 歴史のまなざし:パレスティナ 暮らしのなかの歴史:野球と私たち 4 計画経済と開発 5 冷戦下の日本とアジア 6 日本と欧米先進国の経済成長 歴史のまなざし:万国博覧会 歴史の舞台:アフリカ 7 地域連携の拡大 8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容
12	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望	1 問い直される近代 歴史のまなざし:近現代における女性 暮らしのなかの歴史:タピオカと私たち 2 石油危機と経済の自由化 3 アジアの経済発展と日本 4 冷戦の終結と世界 5 拡散する地域紛争 歴史のまなざし:国民国家と民族問題 資料からよみとる:グラフや地図から現代の課題についてよみとろう 6 民主化の進展 7 グローバル化と地域統合 8 岐路に立つ世界と日本 生活と文化:グローバル化 歴史探究の方法

【公民】 公共 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「公共」(公共 701),	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。
- ②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養います。
- ③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1部「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間	・青年期と自己形成の課題 ・自己形成と社会への参画 ・個人として尊重される人間 ・社会的な存在としての人間 ・伝統・文化のなかの人間
5	第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理	・功利主義と幸福の原理 ・義務論と公正の原理 ・活用 生命倫理について考える ・活用 環境倫理について考える
6	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会	・公共的な空間における協働とは ・民主主義とは ・立憲主義とは ・人権保障の意義と展開
7	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	・テーマ1 民主政治と政治参加 ・追究しよう 民意を反映した政治を実現するには? ・私たちの民主政治 ・地方自治のしくみと役割 ・国会のしくみと役割 ・内閣のしくみと役割 ・政治参加と選挙 ・政党と利益集団 ・メディアと世論
9	第2章 法の働きと私たち	・テーマ1 法や規範の意義と役割

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・追究しよう 法は私たちの生活にどのようにかわるのか？ ・法と社会規範の役割 ・法の成立と適用 ・テーマ2 市民生活と私法 ・追究しよう 現代の市民生活における私法の役割と意義は何か？ ・市民生活と法 ・多様な契約
10	第2章 法の働きと私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任 ・テーマ3 国民の司法参加 ・追究しよう 国民が司法に参加するうえで考えるべきことは何か？ ・司法のしくみと役割 ・刑事司法と司法参加の意義
11	第3章 経済社会で生きる私たち 4章 現代の日本の課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1 現代の経済と市場 ・追究しよう 公正で自由な経済活動のために政府の役割はどうあるべきか？ ・私たちと経済 ・市場経済のしくみ ・国民所得と経済成長 ・テーマ2 市場経済における金融の働き ・追究しよう 金融はどのような役割をになっているのだろうか？ ・金融のしくみと働き ・中央銀行の役割と金融環境の変化 ・テーマ3 財政の役割と持続可能な社会保障制度 ・追究しよう 「持続可能な財政」を実現するためにどうすべきだろうか？ ・財政の働き ・財政の課題 ・社会保障の考え方 ・社会保障の課題とこれから
12	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ1 働くことの意義と職業選択 ・追究しよう これからの時代の職業選択をどのように考えればよいのだろうか？ ・働くということ ・多様な職業選択 ・テーマ2 労働者の権利と雇用・労働問題 ・追究しよう 望ましい労働環境を実現するために必要な取り組みは何か？ ・労働者の権利 ・現代の雇用・労働問題 ・テーマ1 国際社会のルールとしくみ ・追究しよう 国際社会の課題を解決するためにどのようなルールが必要か？ ・国際社会の成り立ち ・国際連合の役割 ・テーマ2 国際社会と平和主義 ・追究しよう 国際社会の平和と安全を実現するには？ ・日本の平和主義と冷戦 ・冷戦後の世界と日本 ・テーマ3 国際平和への課題

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・追究しよう 国際社会における責任ある行動とは何か？ ・現代の紛争とその影響 ・平和な国際社会に向けて ・テーマ4 グローバル化する国際経済 ・追究しよう 経済のグローバル化は現代社会にどのような影響をもたらしたか？ ・貿易のしくみ ・国際金融のしくみと動向 ・グローバル化と今日の国際経済 ・国際経済の諸課題 ・探究のイメージをつかもう ・探究プロセス

【公民】倫理 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「倫理」(倫理 701),	単位数	4単位
		学科・年次	

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ①<<「知識及び技能」に関わる目標>> 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関する情報を調べまとめる技能を身に付けるようにします。
- ②<<「思考力、判断力、表現力等」に関わる目標>> 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養います。
- ③<<「学びに向かう力、人間性等」に関わる目標>> 人間としての在り方生き方に関する事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き 第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想	・人間の特質 ・青年期の課題 ・認知 ・感情と個性 ・発達 ・「心」をめぐる
5	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想	・人間と哲学 ・哲学の誕生と自然哲学 ・ソクラテスとソフィスト ・プラトン ・アリストテレス ・ヘレニズム・ローマ時代の思想
6	3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	・集団的な現象としての宗教 ・『旧約聖書』の倫理 ・イエスの教え ・キリスト教の展開 ・ムハンマドとイスラームの教え ・イスラームの展開 ・古代インドの思想 ・ブッダの思想 ・仏教の展開

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・孔子と儒家の思想 ・儒教の展開 ・老荘思想 ・美の発見と芸術の創造・鑑賞 ・芸術と社会 ・「幸福」をめぐる ・「愛」をめぐる
7	第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想	<ul style="list-style-type: none"> ・人間主体の時代 ・新しい学問の方法 ・経験論と合理論の対話 ・社会契約説 ・カント—人格の尊厳 ・ヘーゲル—人倫の思想 ・功利主義と幸福 ・社会主義思想 ・社会の進歩と実証的思想
9	5節 理性への疑念	<ul style="list-style-type: none"> ・世界をとらえる知のあり方の変容
10	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土	<ul style="list-style-type: none"> ・存在への問い ・新たな知の枠組み ・現代思想の展開 ・他者と言語 ・民主社会の成熟のために ・社会参加と奉仕 ・自然と人間とのかかわり ・「自由」をめぐる ・「正義」をめぐる ・「真理」をめぐる ・日本人の自然観 ・日本人の宗教観 ・日本人の倫理観
11	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教の受容 ・仏教の日本的展開 ・仏教と日本文化 ・儒教の受容 ・儒教の日本的展開 ・国学の形成と展開 ・庶民の思想の広がり ・幕末の思想 ・近代化と啓蒙思想
12	6節 西洋思想と日本人の近代化	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教の受容 ・社会思想の展開 ・近代的な自己の追求 ・近代日本の創造的な思想 ・戦後思想の動向 ・グローバル化と日本人 ・「日本人の心情」をめぐる ・1節 生命 ・2節 自然

月	单元名	学習内容
		・3節 科学技術 ・4節 福祉 ・5節 文化と宗教 ・6節 戦争と平和

【公民】政治経済 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「政治・経済」(政経 701),	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

1	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。
2	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養います。
2	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の成立 ・法と民主政治 ・18歳からの社会参加① 18歳になるとできること ・基本的人権の確立 ・現代の民主政治 ・世界のおもな政治体制。
5	2節 日本国憲法の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定と基本原則 ・基本的人権の保障 ・平和主義
6	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 ・地方自治 ・戦後政治と政党 ・選挙と政治意識 ・世論と政治参加 ・18歳からの社会参加② 選挙権の行使に向けて
7	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の意義 ・資本主義経済の発展と変容 ・経済主体と経済の循環 ・生産のしくみと企業 ・市場経済の機能と限界 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと機能 ・18歳からの社会参加③ ライフプランと金融

月	単元名	学習内容
		・財政のしくみと機能
9	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後日本経済の発展 ・日本経済の現状 ・公害と環境保全 ・農業・食料問題 ・中小企業の現状と課題 ・情報化の進展と社会の変化 ・消費者問題 ・18歳からの社会参加④ 消費者市民社会の実現に向けて ・雇用と労働問題 ・18歳からの社会参加⑤ 働き方について考える ・社会保障と福祉
11	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会における社会保障 ・地域社会の活性化 ・多様な働き方・生き方の実現 ・中小企業の意義と課題 ・日本の財政の健全化 ・持続可能な食料・農業の実現 ・防災と安全・安心な社会の実現 ・国際政治の特質 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・冷戦後の国際関係と日本 ・地域主義の動き ・軍縮の動向と課題 ・紛争・難民・テロリズム ・国際社会における日本の役割
12	第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題 第3章 国際社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易と国際収支 ・戦後国際経済体制の展開 ・発展途上国の経済 ・グローバル化する世界経済 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口・貧困・感染症 ・グローバル化にともなう社会変容 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際的な経済格差の是正 ・イノベーションの促進と成長市場 ・民族問題と紛争の解決 ・持続可能な社会の実現

【数学】数学Ⅰ 年間学習指導計画

教科書	新数学Ⅰ (東書 数Ⅰ704・705)	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 Ⅰ年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

Ⅰ 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

Ⅱ 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	数の計算 1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2) 5 乗法公式	<ul style="list-style-type: none"> ・数学Ⅰの学習を進める際に必要な既習事項を復習し、基本的な計算ができるようにする。 ・文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 ・単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、同類項、多項式の次数、n 次式など、式についての用語の意味を理解し、多項式を整理する中で、式についての見方を豊かにする。 ・多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ・指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 ・乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。
6	6 因数分解(1) 7 因数分解(2) 8 展開、因数分解のくふうと利用 2節 実数 1 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 ・$\times 2$の係数が1以外の多項式を因数分解することができる。 ・式の一部を1つの文字に置き換えて考えるなど、見通しをもって多項式を展開、因数分解することができる。 ・平方根について理解する。
7	2 根号を含む式の計算 3 数の分類 4 分数と小数 3節 方程式と不等式 1 1次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。 ・自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。 ・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。

月	単元名	学習内容
	2 不等式 3 不等式の性質 4 不等式の解 5 不等式の解き方 6 2次方程式とその解き方 7 2次方程式の解の公式	<ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。また、1次方程式を利用して身近な問題を解決することができる。 ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。また、1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。
9	2章 2次関数 1節 2次関数とグラフ 1 関数 2 1次関数とそのグラフ 3 2次関数とそのグラフ 4 グラフの平行移動 5 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと2次方程式 3 2次関数のグラフと2次不等式 4 いろいろな2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・変化する2つの変数の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。 ・具体的な事象から2次関数の概念を理解する。また、2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。 ・関数 $y=ax^2$ のグラフを x 軸方向や y 軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。 ・2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。 ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。また、式の見方を豊かにするとともに、グラフを活用することのよさを認識する。 ・2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフと x 軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。
10	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 1 三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。
11	2 タンジェント 3 サインとコサイン 4 三角比の利用 5 三角比の相互関係 6 $90^\circ-A$ の三角比 2節 三角比の応用 1 三角形の面積 2 正弦定理 3 余弦定理 4 鈍角の三角比 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 ・サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、30°、45°、60° の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。また、三角比を利用して具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識する。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。 ・$90^\circ-A$ の三角比の値を求めることができる。 ・与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・余弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・座標を用いて定めることで 0° から 180° までの角に対するものに拡張された三角比を理解し、その値を求めることができる。

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、$180^\circ - \theta$の三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も正弦定理, 余弦定理, 三角形の面積の公式が成り立つことを理解し, 図形の計量の際に有効に活用することができる。また, 三角比を空間図形の計量に活用することができる。
12	<p>4章 データの分析</p> <p>1節 データの分析</p> <p>1 データにもとづいた問題解決の進め方</p> <p>2 データの特徴の調べ方</p> <p>3 代表値</p> <p>4 四分位数と箱ひげ図</p> <p>5 分散と標準偏差</p> <p>6 相関関係</p> <p>7 相関係数</p> <p>8 データにもとづく考え方</p> <p>5章 集合と論証</p> <p>1節 集合と論証</p> <p>1 集合</p> <p>2 命題と集合</p> <p>3 命題と証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。 ・データや階級, 度数, 階級値, 度数分布表, 累積度数, ヒストグラム, 相対度数, 累積相対度数の定義や意味を理解し, 目的やデータに応じて, 度数分布表, ヒストグラムなどに表すことができる。 ・データの特徴を 1 つの数値によって表せることを理解し, それを平均値, 中央値, 最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの散らばり具合を表す四分位数, 四分位範囲の定義や意味を理解する。また, それを箱ひげ図に表すことができる。 ・分散, 標準偏差を理解し, それを求めることができる。 ・相関関係について理解する。 ・相関関係の強弱を表す相関係数について理解し, 相関の強さが表せることの有用性を認識できる。 ・仮説検定の考え方を理解するとともに, 不確実な事象の起こりやすさに着目し, 主張の妥当性について, 実験などを通して判断したり, 批判的に考察したりすることができる。 ・部分集合, 全体集合, 補集合, 共通部分, 和集合などの集合の表し方, 用語, 記号を, 図を用いて理解し, 記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また, 必要条件, 十分条件, 必要十分条件の意味を知り, さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。 ・命題の逆, 裏, 対偶について理解し, 対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び, 論理的な思考力を養う。

【数学】 数学 A 年間学習指導計画

教科書	新数学A (東書 数A704・705)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次 (定型履修の場合)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数	・部分集合, 全体集合, 補集合, 共通部分, 和集合などの集合の表し方, 用語, 記号を, 図を用いて理解し, 記号を使って表すことができる。 ・補集合, 和集合について, 集合の要素の個数を求めることができる。
6	3 個数の数え方 4 和の法則と積の法則 5 順列 6 順列の利用 7 いろいろな順列 8 組合せ 9 組合せの利用	・具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。 ・和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し, 場合の数を効率よく求めることができる。 ・樹形図を利用して順列の意味を理解し, その総数を求めることができる。 順列の考え方をいろいろな場面に利用して, 条件のついた順列の総数を求めることができる。 ・重複順列, 円順列の意味を理解し, その総数を求めることができる。 ・組合せの意味や性質を理解し, その総数を求めることができる。 ・組合せの考え方をいろいろな場面に利用して, 組合せの総数を求めることができる。
7	2節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算 3 排反事象の確率 4 余事象の確率 5 独立な試行の確率 6 反復試行の確率 7 条件つき確率	・試行と事象, 事象の確率について学び, 確率の意味を知り, 基本的な確率を求めることができる。 ・場合の数をもとに, 確率を求めることができる。 ・確率の加法定理を理解し, 排反事象の確率を求めることができる。 ・余事象の確率を求めることができる。 ・独立な試行の意味を理解し, 簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 ・反復試行について理解し, 簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。 ・条件つき確率の意味を理解する。また, 確率の乗法定理を理解し, 活用できる。

月	単元名	学習内容
10	2章 図形の性質 2節 三角形の性質 1 三角形と比 2 三角形の重心 3 三角形の外心・内心 4 角の二等分線と線分の比 3節 円の性質 1 円の接線 2 円周角の定理 3 円に内接する四角形 4 接線と弦のつくる角 5 方べきの定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ・三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。 ・円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 ・円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を理解し、4 点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 ・円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 ・接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 ・円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めることができる。
11	3章 数学と人間の活動 1節 数や位置を表す 1 数を表す 2 数の表し方のしくみ 3 2進法 4 位置を表す	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。 ・10 進法、2 進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 ・2 進法と10 進法の変換を行うことや2 進法と10 進法を対比してみると、記数法に対する理解を深めることができる。また、2 進法で表された数の計算ができる。 ・平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また、その考えを空間内の座標へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。
12	2節 数のつくり方を調べる 1 約数と倍数 2 最大公約数と最小公倍数 3 ユークリッドの互除法	<ul style="list-style-type: none"> ・約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 ・素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。

【数学】 数学Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	新数学Ⅱ (東書 数Ⅱ717・718)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次 (選択科目)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	1章 方程式・式と証明 1節 式の計算 1 3次の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 分数式のかけ算とわり算 4 分数式のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> ・3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し、それらを用いて計算することができる。 ・パスカルの三角形について考察し、二項定理を利用して式を展開することができる。 ・分数式とその約分、わり算、かけ算について理解し、その計算ができる。 ・分数式とその通分、たし算、ひき算について理解し、その計算ができる。
5	2節 2次方程式 1 複素数 2 複素数の計算 3 2次方程式の解 4 解と係数の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・虚数単位を理解するとともに、数を実数から複素数に広げることに興味をもち、従来解けなかった2次方程式にも解があることを理解する。 ・複素数の演算や共役な複素数について理解する。 ・すべての2次方程式を解くことができる。また、2次方程式の判別式について理解し、解を判別することができる。 ・2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係について興味をもって調べ、2次方程式への理解を深める。
6	3節 高次方程式 1 多項式のわり算 2 因数定理 3 高次方程式 4節 式と証明 1 等式の証明 2 不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式のわり算について理解し、商と余りの関係を表すことができる。 ・剰余の定理と因数定理について理解し、多項式のわり算や因数分解に関してそれらを利用することができる。 ・高次方程式について理解し、因数分解、因数定理を用いて高次方程式を解くことができる。また、身近な問題を解決することに、高次方程式を活用することができる。 ・左辺と右辺をそれぞれ計算することで、等式を証明し、論理的な思考力を養う。

月	単元名	学習内容
	2章 図形と方程式 1節 座標と直線の方程式 1 直線上の点の座標 2 平面上の点の座標	<ul style="list-style-type: none"> ・左辺と右辺の差をとることで、不等式を証明し、論理的な思考力を養う。また、相加平均と相乗平均の間に成り立つ関係について理解し、それを用いて不等式を証明することができる。 ・数直線上の2点間の距離を求めることができる。また、線分の内分・外分の意味を理解し、数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。 ・座標平面について理解する。座標平面上で、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。また、三角形の重心の座標を求めることができる。
7	3 直線の方程式 4 2直線の関係 2節 円の方程式 1 円の方程式 2 円と直線 3節 軌跡と領域 1 軌跡 2 不等式の表す領域 3 連立不等式の表す領域 3章 三角関数 1節 三角関数 1 一般角 2 三角関数 3 三角関数の相互関係 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・直線の傾きと切片について理解し、1点と傾きや、2点を与えられたときの直線の方程式を求めることができる。 ・2直線の交点の座標が方程式を連立して求められることを理解する。また、平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し、それらを用いて直線の方程式を求めることができる。 ・与えられた条件から円の方程式を求めたり、円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。また、円と直線の共有点の個数について、2次方程式の判別式の符号と対応していることを理解する。 ・軌跡について理解し、与えられた条件から軌跡を求めることができる。 ・不等式が表す領域を図示したり、領域を不等式に表したりすることができる。 ・連立不等式が表す領域を図示することができる。 ・角の概念を一般角まで拡張することについて理解する。 ・三角関数の定義を理解し、一般角の三角関数の値を求めることができる。 ・一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。 ・三角関数のグラフの特徴を理解し、そのグラフをかくことができる。 ・三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。
10	2節 加法定理 1 加法定理 2 加法定理の応用 3 弧度法 4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 1 整数の指数 2 累乗根 3 分数の指数 4 指数関数とそのグラフ 5 指数関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の加法定理を理解し、それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 ・加法定理の簡単な応用として2倍角の公式を導き利用できる。また、加法定理の逆として三角関数の合成を理解する。 ・弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。 ・指数の範囲を整数全体に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。 ・累乗根の意味を理解し、簡単な計算をすることができる。 ・指数の範囲を分数に拡張した指数法則について理解し、指数法則を用いて計算することができる。 ・指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、指数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。 ・身近な問題を解決することに、指数関数を活用することができる。

月	単元名	学習内容
11	2節 対数関数 1 対数 2 対数の性質 3 対数関数とそのグラフ 4 常用対数 5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率 2 微分係数 3 導関数 4 導関数の計算 5 接線	<ul style="list-style-type: none"> ・対数の意味を理解し、簡単な対数の値を求めることができる。 ・対数の性質を理解し、それを用いて対数の計算をすることができる。 ・対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。 ・常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し、それらを用いて整数の累乗の桁数を求めることができる。 ・関数の平均変化率が曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。 ・極限值や微分係数の意味を理解し、微分係数を定義に基づいて求めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・導関数の意味を理解する。 ・簡単な導関数の計算ができる。また、導関数を利用して、微分係数を求めることができる。 ・曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。また、与えられた曲線の方程式から曲線上のある点における接線の方程式を求めることができる。
12	2節 導関数の応用 1 関数の増加・減少 2 関数の極大・極小 3 関数の最大・最小 3節 積分 1 不定積分 2 定積分 3 面積	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。 ・関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めたり、そのグラフをかいたりすることができる。 ・ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。 ・不定積分の意味を理解し、公式を用いて不定積分を求めることができる。 ・定積分の意味を理解し、公式を用いて定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。

【数学】 数学 B 年間学習指導計画

教科書	数学B Standard (東書 数B702)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次 (選択履修)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	1章 数列 章導入 Introduction 1節 数列 1 数列 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和	<ul style="list-style-type: none"> ・受け取る米粒の数は?の考察を通して, 数列について興味・関心を高める。 ・数列の概念及び数列についての基本的な用語の意味を理解する。 ・等差数列について関心を深め, 一般項 a_n を初項 a, 公差 d を使って表せることを理解する。 ・等差数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち, それが n を用いて表せることを理解する。 ・等比数列について関心を深め, 一般項 a_n を初項 a, 公比 r を使って表せることを理解する。 ・等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方に興味をもち, それが n を用いて表せることを理解する。
6	2節 いろいろな数列 1 数列の和と記号 Σ 2 いろいろな数列 3節 漸化式と数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> ・記号Σの意味と性質を理解し, 自然数の累乗の和をΣを用いて表すことができる。 ・階差数列や数列の和から一般項を求めたり, 群数列などの少し複雑な数列の一般項や和を求めたりすることができる。
7	3節 漸化式と数学的帰納法 1 漸化式 2 数学的帰納法 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の帰納的定義について理解し, 漸化式を扱うことができる。 ・数学的帰納法について理解し, 等式などの証明に利用できる。 ・“階差を利用した数列の和”の問題について, 本章で学んだことを活用して解決に取り組み, 問題解決力を高める。
9	2章 統計的な推測 章導入 Introduction 1節 標本調査 1 母集団と標本	<ul style="list-style-type: none"> ・10回中6回「当たり」は珍しい?の考察を通して, 統計的な推測について興味・関心を高める。 ・標本調査の意義を認識し, 標本の抽出法や用語などを理解する。 確率変数, 確率分布の意味を理解し, 確率分布を求めることができる。ま

月	単元名	学習内容
	2節 確率分布 1 確率分布	た、確率変数の平均と分散の意味を理解し、確率変数 X の平均(期待値)や分散、標準偏差を求めることができる。
10	2 確率変数の平均と分散の性質 3 確率変数の和と積 4 二項分布	<ul style="list-style-type: none"> ・確率変数 $aX+b$ の平均や分散、標準偏差について理解し、それらを求めることができる。 ・確率変数の和の平均や独立な確率変数の積の平均、和の分散について理解し、それらを求めることができる。 ・二項分布の意味を理解する。また、二項分布の確率や平均、分散及び標準偏差を求めることができる。
11	3節 正規分布 1 正規分布 4節 統計的な推測 1 母平均の推定 2 仮説検定 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・連続分布とその代表の正規分布について理解し、正規分布に従う確率変数の確率を求めることができる。また、二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・母平均、母分散、母標準偏差や標本平均の分布、分散などを求めることができる。また、標本平均の分布と正規分布の関係を理解し、標本平均の分布から母平均を推定する方法を理解する。さらに、信頼度 95%の信頼区間という考え方を理解し、母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。 ・仮説検定の考えや帰無仮説、対立仮説、有意水準、棄却域などの用語について理解し、母平均の検定、母比率の検定を行うとともに、母集団に関する予想の妥当性について判断することができる。 ・“1 か月間に何冊の本を読む?”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
12	3章 数学と社会生活 1節 数学的モデル化 1 数学的モデルを用いた予測 2節 関数モデル 1 関数モデルを用いた予測 3節 確率モデル 1 確率モデルを用いた予測 4節 幾何モデル 1 幾何モデルを用いた考察 5節 フェルミ推定 1 フェルミ推定による推定	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の特徴を捉え、数学的に表現した数学的モデルの考え方について理解する。また、ポップコーンを買うまでの待ち時間を、ある仮定に基づく数学的モデルを用いて考察したり、予測の度合いを高めるために数学的モデルを修正したりすることができる。 ・日常生活や社会生活などの様々な問題場面に潜む変量間の関係を見いだす関数モデルについて理解する。また、ジュースの販売数と日ごとの最高気温を変量として関数モデルを考え、回帰直線を求めて販売数を予測したり、予測の度合いを高めるために仮定や関数モデルを見直したりすることができる。 ・身の回りで起こる不確実な要素を含む現象を確率を用いて表現する確率モデルについて理解する。また、貸し出した自転車がそれぞれのポートにどのような確率で返却されるかを、実験データをもとに確率モデルをつくって予測したり、考えたりすることができる。 ・事象を平面図形または空間図形を用いて表現する幾何モデルについて理解する。また、ラグビーのコンバージョンキックを蹴って成功しやすいのはどの地点かを、幾何モデルを用いて考えることができる。 ・直感で把握することが困難な数の概数を求めるフェルミ推定の考え方を理解する。また、日本で1年間に使用されるチョークの本数などの概数を、フェルミ推定を用いて考えることができる。

【数学】 数学Ⅲ 年間学習指導計画

教科書	数学Ⅲ Advanced (東書 数Ⅲ701)	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 3年次 (選択科目)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	1章 関数と極限 1節 関数 1 分数関数とそのグラフ 2 無理関数とそのグラフ 3 逆関数と合成関数 問題 [課題学習] 探究 無理式を含む方程式・不等式 2節 数列の極限 1 数列の極限 2 無限等比数列 3 無限級数 4 無限等比級数 5 いろいろな無限級数 問題 [課題学習] 探究 いろいろな漸化式と極限值	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数とそのグラフについて理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察することができる。 ・無理関数とそのグラフについて理解し、既に学習した関数の性質と関連付けて多面的に考察することができる。 ・逆関数や合成関数の意味を理解し、それらを求めることができる。 ・無理不等式について学んだことを振り返り、統合的・発展的に考察することができる。 ・数列の極限について理解し、さまざまな数列の極限を求めることができる。 ・無限等比数列の収束、発散について理解し、これをもとにさまざまな数列の極限について考察することができる。 ・無限級数の収束、発散について理解し、その和を求めることができる。 ・無限等比級数の収束、発散について理解し、その和を求めたり、応用したりすることができる。 ・無限級数の和・差・実数倍の性質を利用して、さまざまな無限級数の和を求めることができる。 ・漸化式で定められる数列の極限について学んだことを振り返り、発展的に考察することができる。
5	3節 関数の極限 1 関数の極限 2 三角関数と極限 3 関数の連続性 問題	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の極限について理解し、さまざまな関数の極限を求めることができる。 ・三角関数の極限について理解し、これをもとにさまざまな関数の極限について考察することができる。 ・関数の連続性について理解し、関数の連続性を調べたり、連続関数をも

月	単元名	学習内容
	<p>[課題学習]探究 2 つの関数の商と差の極限 練習問題</p> <p>[課題学習]活用 ニュートン法</p> <p>2章 微分 1節 微分法 1 導関数 2 積・商の微分法 3 合成関数の微分法</p>	<p>つ性質を調べたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 つの関数の商と差の極限について学んだことを振り返り, 統合的・発展的に考察することができる。 ・関数の極限について学んだことを, 問題解決に活用することができる。 <p>・微分可能性について理解し, 定義に基づいて関数の導関数を求めることができる。また, 導関数の基本的な性質を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積, 商の導関数について理解し, それらを用いて基本的な関数の導関数を求めることができる。 ・合成関数の微分法および逆関数の微分法について理解し, それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。
6	<p>2節 いろいろな関数の導関数</p> <p>1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数 3 いろいろな形で表される関数の微分 4 高次導関数 問題</p> <p>[課題学習]探究 対数微分法の様々な利用 練習問題</p> <p>[課題学習]活用 当たりくじの確率</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の導関数について理解し, 三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 ・自然対数の底 e を導入し, 対数関数の導関数について理解する。また, 対数微分法を理解し, それを用いて, 指数関数の導関数を求めることができる。 ・さまざまな曲線について, それを表す方程式を微分して考察することができる。また, 媒介変数表示を理解し, 媒介変数で表された関数を微分することができる。 ・高次導関数について理解する。 ・対数微分法について学んだことを振り返り, 統合的・発展的に考察することができる。 ・極限と自然対数について学んだことを問題解決に活用することができる。
8	<p>3章 微分の応用</p> <p>1節 接線, 関数の増減</p> <p>1 接線・法線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の増減 4 関数の極大・極小 5 第2次導関数とグラフ 問題</p> <p>[課題学習]探究 媒介変数で表された曲線の概形</p> <p>2節 微分のいろいろな応用</p> <p>1 最大・最小 2 方程式・不等式への応用 3 速度・加速度 4 近似式 問題</p> <p>[課題学習]活用 缶詰の表面積と体積</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。 ・平均値の定理の意味を理解し, 不等式の証明などに応用することができる。 ・平均値の定理に基づいて関数の増減について考察することができる。また, 関数の増減を調べることができる。 ・関数の値の変化を調べ, 極値を求めることができる。 ・第2次導関数と曲線の凹凸の関係について理解する。また, 関数の増減, 極値, グラフの凹凸, 変曲点などを踏まえて, 関数のグラフの概形をかくことができる。 ・導関数とグラフの概形の関係について学んだことを振り返り, 統合的・発展的に考察することができる。 <p>・微分法を用いて, 関数の最大値, 最小値を求めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不等式・方程式からつくられた関数の最大・最小やグラフを利用して, 不等式・方程式を考察することができる。 ・運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解する。さらに, いろいろな量の変化率について考察することができる。 関数の局所的な変化に着目し, 近似式の考え方について理解し, 近似式や近似値を求めることができる。 ・関数の最大・最小について学んだことを問題解決に活用することができる。 ・導関数や極限について学んだことを問題解決に活用することができる。

月	単元名	学習内容
	練習問題 活用 「R=100」とは何か?	
9	4章 積分とその応用 1節 不定積分 1 不定積分とその基本公式 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 問題 [課題学習]探究 不定積分 $\int e^x \sin x dx$, $\int e^x \cos x dx$ を求める	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の基本的な性質について理解し、さまざまな関数の不定積分を求めることができる。 ・置換積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の不定積分を考察することができる。 ・部分積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の不定積分を考察することができる。 ・目的に応じて式を変形するなどして、いろいろな関数の不定積分を考察することができる。 ・不定積分について学んだことを振り返り、統合的・発展的に考察することができる。
10	2節 定積分 1 定積分 2 定積分の置換積分法 3 定積分の部分積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分の基本的な性質について理解し、さまざまな関数の定積分を求めることができる。 ・定積分の置換積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の定積分を考察することができる。 ・定積分の部分積分法について理解し、これを用いてさまざまな関数の定積分を考察することができる。
11	4 定積分で表された関数 5 定積分と区分求積法 6 定積分と不等式 問題 [課題学習]探究 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^{\alpha}}$ の収束と発散 3節 面積・体積・長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・積分と微分の関係について理解し、定積分で表された関数について考察することができる。 ・区分求積法について理解し、数列の和の極限の考察に応用することができる。 ・定積分と面積の関係を利用して、さまざまな不等式を証明することができる。 ・定積分と不等式について学んだことを振り返り、統合的・発展的に考察することができる。
12	3節 面積・体積・長さ 1 面積 2 体積 3 曲線の長さとのり 問題 [課題学習]探究 様々な断面による立体の求積 練習問題 [課題学習]活用 回転体としてのガラスの容積	<ul style="list-style-type: none"> ・定積分と面積の関係について理解し、さまざまな図形の面積を考察することができる。 ・定積分と体積の関係について理解し、さまざまな図形の体積を考察することができる。 ・定積分と極線の長さの関係について理解し、さまざまな曲線の長さを考察することができる。 ・立体の求積について学んだことを振り返り、多面的に考察することができる。 ・積分を日常の事象の問題解決に活用することができる。

【数学】 数学 C 年間学習指導計画

教科書	数学C Standard (東書 数C702)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次 (選択科目)

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4	1章 ベクトル 章導入 Introduction 1節 平面上のベクトル 1 平面上のベクトル 2 ベクトルの分解	<ul style="list-style-type: none"> ・船はぶつかる?ぶつかからない?の考察を通して、ベクトルについて興味・関心を高める。 ・平面上のベクトルを図示する活動などを通して、ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて理解する。また、実数の演算法則と関連付けてベクトルの演算法則が成り立つことを考察することができる。 ・具体的な図形における考察を通して、ベクトルの分解とその一意性について理解する。
5	3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上のベクトルが 2 つの実数の組で成分表示されることを平面上の点の座標と関連付けて理解する。また、成分表示を利用してベクトルの大きさを求めることや、条件を満たす単位ベクトルを成分表示することができる。さらに、ベクトルの演算や平行・分解などについての理解を深める。 ・2 つのベクトルのなす角や成分表示に関連付けて、ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。
6	2節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル 2 ベクトル方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の点の位置ベクトルについて理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・ベクトルの演算や内積の基本的な性質及び位置ベクトルの考え方をを用いて、平面上の直線や円をベクトル方程式で表現する方法について考察したり、与えられた条件を満たす点がえがく図形について考察したりすることができる。
7	3節 空間におけるベクトル 1 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・空間におけるベクトルの定義や平行条件、ベクトルの分解とその一意性について、平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。

月	単元名	学習内容
	2 空間座標と空間のベクトル 3 空間のベクトルの内積 4 位置ベクトルと空間の図形 Training Level Up 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。また、空間のベクトルでも平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し、ベクトルの加減や実数倍などの演算の表し方を平面の場合から類推して統合的・発展的に考察することができる。 ・平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解する。また、そのことを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。 ・平面における位置ベクトルの考えを拡張して空間における位置ベクトルについて理解する。また、それを用いて空間図形の性質について多面的に考察したり、空間における図形のベクトル方程式を求めたりすることができる。 ・“ケプラーと正多面体”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
9	2章 平面上の曲線 章導入 Introduction 1節 2次曲線 1 放物線, 楕円, 双曲線 2 2次曲線と平行移動 3 2次曲線と直線 4 2次曲線と離心率	<ul style="list-style-type: none"> ・境界線は?の考察を通して、平面上の曲線について興味・関心を高める。 放物線, 楕円, 双曲線の定義とその方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察し、それらの曲線の基本的な性質について理解する。 ・2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について、条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察することができる。また、平行移動したときの2次曲線の方程式の変化について理解する。 ・2次曲線と直線の共有点について、2次方程式の実数解の考え方を用いて考察することができる。また、2次方程式の判別式を用いて、2次曲線と直線の共有点の個数を求めたり、2次曲線の接線の方程式を求めたりすることができる。 ・放物線, 楕円, 双曲線を、離心率の考え方を用いることで相互に関連付けて捉えて考察することができる。
10	2節 媒介変数表示と極座標 1 曲線の媒介変数表示 2 極座標と極方程式 Training Level Up 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・曲線の媒介変数表示について理解する。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示について理解する。 ・直交座標と極座標の関係及び極方程式について理解する。また、直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことやその逆のことができる。 ・“アトラクションの動きを調べてみよう”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
11	3章 複素数平面 章導入 Introduction 1節 複素数平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド・モアブルの定理 Training 2節 図形への応用 1 2直線のなす角 2 複素数平面上の図形	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和や差を図示しようの考察を通して、複素数平面について興味・関心を高める。 ・複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数の実数倍や、和と差が複素数平面上でどのように表されるかを理解する。複素数の極形式を理解し、$a+bi$の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係を理解する。 ・ド・モアブルの定理について理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて$z^n = \alpha$の解を求めることができる。さらに、その解を複素数平面上に図示することができる。

月	単元名	学習内容
	Training Level Up 章末 Investigation	<ul style="list-style-type: none"> ・偏角を用いることにより、複素数平面上の 2 直線がなす角の大きさが求められることを理解する。また、複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。 ・内分点や外分点、円、軌跡を、複素数を用いて表現することができる。 ・“相似条件と複素数”の問題について、本章で学んだことを活用して解決に取り組み、問題解決力を高める。
12	4章 数学的な表現の工夫 1節 統計グラフに表す 1 適切なグラフの選択 2 様々な表やグラフ 2節 行列に表す 1 行列とその加法・減法 2 行列の乗法とその性質 3 行列の乗法の活用 3節 離散グラフに表す 1 離散グラフとその活用 2 離散グラフと行列	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類に応じて適切な図、表、統計グラフなどの表現方法を選択することができる。 既知の図、表、統計グラフでは読み取りにくい情報がないかを考察し、複数の図表を組み合わせたり、新たな表現方法を検討したりして、表現の改善点や改善方法を見いだすことができる。 ・アンケート調査の結果を簡単に表現する方法に関する考察を通して行列を定義し、行列の加法・減法を用いることで能率的に調査結果を処理することができる。 ・行列の積を定義し、それを用いて事象を考察するとともに、行列の乗法の性質について理解を深める。 ・行列の積を用いてベクトルの変化を観察し、原点を中心とする回転を表す行列について考察することができる。 ・具体的な事象を離散グラフで表して考察することを通して、その意義や良さを理解する。 ・離散グラフについて隣接行列とその演算を用いて考察する活動を通して、このような表現の工夫によって能率的に処理したり、事象の様子を的確に伝えたりすることができることを認識できるようにする。

【理科】 科学と人間生活 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「科学と人間生活」(科人 701)	単位数	2単位
	ニューサポート科学と人間生活	学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
4 5	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	1 さまざまな微生物 A 身のまわりの微生物 B 生態系における微生物のはたらき C 窒素と微生物のはたらき D 水中の微生物のはたらき 2 私たちの暮らしへの微生物の利用 A 微生物の発見の歴史 B 食品と微生物 C 発酵のしくみ D 医薬品と微生物
6	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 2編 物質の科学 1章 材料とその再利用	1 人の資格と光による影響 A 視覚とは何か B 眼の構造とはたらき 2 血糖濃度を調節するしくみ A 血糖とは何か B 血糖濃度の調節 3 体を守る免疫のしくみ A 感染症から体を守るしくみ B 免疫のしくみと日常生活 4 生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき A 遺伝子と DNA B DNA の遺伝情報からタンパク質へ C 体内ではたらくタンパク質 1 リサイクルとは何か A 資源の再利用と 3R

月	単元名	学習内容
		2 金属の性質とその再利用 A 金属の性質 B 異なる金属の区別 C 金属の製錬と人間生活 D 金属の再生利用
7	2編 物質の科学 1章 材料とその再利用 2編 物質の科学 2章 衣料と食品	3 プラスチックの性質とその再利用 A プラスチックの性質と分類 B プラスチックはどのようにするのか C プラスチックの再生利用 1 衣料の科学 A 繊維の種類と性質 B 生物からつくられる天然繊維 C 石油からつくられる合成繊維 2 食品の科学 A 体に必要な栄養素 B 脂質の性質 C 炭水化物の性質 D タンパク質の性質
10	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	1 光の進み方とその基本的な性質 A 光の進み方とその見え方 B 光の波としての性質① C 光の波としての性質② 2 目に見える光と色の見え方 A さまざまなスペクトル B 光の3原色と色 3 目に見えない光とその利用 A 電磁波の利用① B 電磁波の利用②
11	3編 光や熱の科学 2章 熱の性質とその利用	1 熱とは何か A 原子や分子の熱運動 B 熱容量と比熱 C 熱の伝わり方 2 エネルギーの利用と私たちの暮らし A 力学的エネルギーと熱エネルギー B ほかのエネルギーから熱エネルギーへ C 熱エネルギーから仕事への変換 D エネルギーの有効利用
12	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球(14h)	1 太陽と月がもたらすリズム(5h) A 太陽と月がつくる暦(2h) B 海水面の変動と潮の満ち干をもたらす力 2 太陽が動かす大気と水

【理科】 化学基礎 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編化学基礎」(化基 702), ニューサポート新編化学基礎	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1編 化学と人間生活 1章 化学とは何か 2章 物質の成分と構成元素	<ul style="list-style-type: none"> ・化学とは何か 1節 物質の成分 <ul style="list-style-type: none"> ・純物質と混合物 2節 物質の構成元素 <ul style="list-style-type: none"> ・元素 ・単体と化合物 ・元素の確認 3節 物質の三態 <ul style="list-style-type: none"> ・粒子の熱運動 ・物質の三態と状態変化
6	2編 物質の構成 1章 原子の構成と元素の周期表	<ul style="list-style-type: none"> 1節 原子の構造 <ul style="list-style-type: none"> ・原子 ・同位体 2節 電子配置と周期表 <ul style="list-style-type: none"> ・原子の電子配置 ・元素の周期表
7	2編 物質の構成 2章 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> 1節 イオンとイオン結合 <ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成 ・イオン化エネルギー ・イオン結合とイオン結晶 2節 分子と共有結合 <ul style="list-style-type: none"> ・共有結合と分子の形成 ・高分子化合物 ・配位結合 ・電気陰性度と分子の極性 ・分子間力と分子結晶 ・共有結合の結晶 3節 金属と金属結合 <ul style="list-style-type: none"> ・金属結合 4節 化学結合と物質の分類 <ul style="list-style-type: none"> ・化学結合と性質の分類

月	単元名	学習内容
10	3編 物質の変化 1章 物質と化学反応式	1節 原子量・分子量・式量 ・原子の相対質量 ・原子量 ・分子量・式量 2節 物質質量 ・アボガドロ数と物質質量 ・1 mol の気体の体積 3節 溶液の濃度 ・溶液の濃度 4節 化学反応の表し方 ・化学反応式 ・イオン反応 5節 化学反応の表す量的関係 ・化学反応の表す量的関係
11	3編 物質の変化 2章 酸と塩基	1節 酸と塩基 ・酸と塩基の性質 ・酸と塩基の定義 ・広い意味の酸・塩基 ・酸と塩基の価数 2節 水素イオン濃度とpH ・水素イオン濃度 ・水素イオン濃度とpH ・pH 指示薬とpH の測定 3節 中和反応と塩の生成 ・中和反応と塩の生成 ・塩の種類 4節 中和滴定 ・中和滴定の量的関係 ・中和滴定 ・滴定曲線
12	3編 物質の変化 2章 酸化還元反応 3編 物質の変化 終章 化学が拓く世界	1節 酸化と還元 ・酸化と還元 ・酸化数と酸化還元反応 2節 酸化剤と還元剤 ・酸化剤と還元剤 ・電子の授受と酸化還元反応式 ・酸化剤と還元剤のはたらきの強さ ・酸化還元滴定 3節 金属の酸化還元反応 ・金属のイオン化傾向 ・金属の反応性 4節 酸化還元反応の応用 ・電池のしくみ ・実用電池 ・金属の製錬

【理科】 生物基礎 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編生物基礎」(生基 702), ニューサポート新編生物基礎	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・日常生活や社会との関連を図りながら, 生物や生物現象について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 生命を尊重し, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1 編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー	1 節 生物の多様性 A 生物の世界の見方 B 進化の証拠 2 節 生物の共通 A 生物の特徴 3 節 細胞の特徴 A 真核細胞の構造 B 原核細胞の構造 C 細胞の共通性と多様性 1 節 生体とATP A 生命活動とエネルギー B ATPの構造 C 代謝 2 節 酵素のはたらき A 酵素 3 節 呼吸と光合成 A 呼吸 B 光合成
6	2 編 遺伝子とそのはたらき 1章 遺伝情報とDNA	1 節 生物と遺伝子 A 遺伝情報と形質 B DNAと染色体 C ゲノム 2 節 DNAの構造 A 塩基の相補性 B DNAの構造 C 塩基の並び方 3 節 DNAの複製と分配 A DNAが複製されるしくみ B 細胞の分裂とDNA

月	単元名	学習内容
	2 編 遺伝子とそのはたらき 2 章 遺伝情報とタンパク質の合成	1 節 タンパク質 A タンパク質とアミノ酸 B 生命活動とタンパク質 2 節 タンパク質と遺伝情報 A DNA からタンパク質へ B RNA と DNA の違い C 転写と翻訳 D 遺伝暗号表 3 節 細胞の分化と遺伝子 A 細胞の分化 B 遺伝子の発現
7	3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ	1 節 体内環境 A 体内環境をつくる体液 B 体内環境を維持するしくみ 2 節 神経系による情報伝達 A 神経系 B 自律神経系による調節 C 脳の構造とはたらき 3 節 内分泌系による情報伝達 A ホルモンによる調節 B ホルモンの分泌量の調節 4 節 血糖濃度の調節(2h) A 血糖濃度を調節するしくみ B 糖尿病とは
10	3 編 ヒトの体の調節 2 章 免疫のはたらき	1 節 免疫のしくみ A 体を守るしくみ B 自然免疫 C 適応免疫 D 血液凝固 2 節 免疫の応用 A 記憶細胞と二次応答 B 免疫グロブリン C 予防接種とワクチン 3 節 免疫とさまざまな疾患 A アレルギー B 自己免疫疾患 C HIV と AIDS
11	4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	1 節 身のまわりの植生 A 環境形成作用 B 階層構造 C 土壌 2 節 植生の遷移 A 遷移と環境 B ギャップ更新と二次遷移 3 節 遷移とバイオーム A 遷移とバイオーム B 日本のバイオーム
12	4 編 生物の多様性と生態系	1 節 生態系における生物の多様性

【保健体育】 体育 I 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の楽しさや喜びを味わい、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツの始まりと変遷 ■ 世界の民族スポーツについて調べてみよう ■ 文化としてのスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。 ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本生まれのスポーツ ■ 競技スポーツにおける競争の意味 ■ オリンピックとパラリンピックの意義 ■ オリンピックの課題 ■ パラリンピックの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。 ・オリンピズムとオリンピックの価値について説明できる。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■ スポーツが経済に及ぼす効果 ■ スポーツの高潔さとドーピング ■ スポーツの価値について考えてみよう ■ なぜドーピングは許されないのか ■ スポーツと環境 ■ スポーツとまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。 ・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。 ・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 ・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。 ・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。

【保健体育】 体育Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の楽しさや喜びを味わい、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツにおける技能と体力 ■スポーツにおける技術と戦術 ■スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう ■スポーツとメディアの関係性 ■技能の上達過程と練習 ■球技における戦術の特徴を比較してみよう ■ゲームにおける戦術的判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気を付けるべき点をあげることができる。 ・技能の型の違いやそれぞれの練習のしかたを説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる。 ・技能がどのようなステップを経て上達するか説明できる。 ・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ■効果的な動きのメカニズム ■運動・スポーツと脳 ■動きと力 ■体カトレーニング ■運動やスポーツでの安全の確保 ■スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう ■スポーツ外傷・障害とその原因 ■健康づくりのために運動を実践してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて説明できる。 ・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる。 ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。 ・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる。

【保健体育】 体育Ⅲ 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の楽しさや喜びを味わい、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■生涯スポーツの見方・考え方 ■スポーツ科学のすすめ ■スポーツにかかわる職業 ■ライフスタイルに応じたスポーツ ■身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう ■自分でスポーツライフを設計してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる。 ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。 ・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげ説明できる。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツを推進する取り組み ■諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう ■豊かなスポーツライフの創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。 ・自分が住んでいた身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。 ・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。

【保健体育】保健 I 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	1単位
		学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■健康の考え方と成り立ち ■私たちの健康のすがた ■生活習慣病の予防と回復 ■がんの原因と予防 ■がんの治療と回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんの種類や原因について説明できる。 ・がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ■食事と健康: BMI から自分の肥満度を調べてみよう ■休養・睡眠と健康 ■喫煙と健康 ■飲酒と健康 ■薬物乱用と健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康の関係について説明できる。 ・健康的な食事のとり方について説明できる。 ・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について説明できる。 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■精神疾患の特徴 ■精神疾患の予防 ■精神疾患からの回復 ■現代の感染症 ■感染症の予防: 新たなインフルエンザを警戒しよう ■性感染症・エイズとその予防 ■健康に関する意思決定・行動選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。 ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。 ・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 ・新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。 ・感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。

月	単元名	学習内容
		<p>感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none">・性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。・意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。・健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。

【保健体育】保健Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	大修館「現代高等保健体育」 (大修館 保体 701)	単位数	1単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していく資質や能力を育成する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
6	<ul style="list-style-type: none"> ■事故の現状と発生要因 ■安全な社会の形成：犯罪から身を守ろう ■交通における安全 ■日常的な応急手当 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・事故の発生には人的要因と環境余韻が関連していることについて例をあげて説明できる。 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 ・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 ・実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。
10	<ul style="list-style-type: none"> ■ライフステージと健康 ■思春期と健康 ■結婚生活と健康 ■働くことと健康 ■労働災害と健康 ■健康的な職業生活：仕事を健康の観点から考えてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達に関わって起こる問題について例をあげることができる。 ・心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■大気汚染と健康 ■水質汚濁、土壌汚染と健康 ■環境と健康にかかわる対策 ■ごみの処理と上下水道の整備：海洋プラスチックについて考えてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康今日を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。

月	単元名	学習内容
	■さまざまな保健活動や社会的対策	・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。

【芸術】美術 1 年間学習指導計画

教科書	日文「高校生の美術Ⅰ」	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- ・幅広い創造活動を通して、生活や社会のなかにある美術文化と関わる資質・能力を育む。
- ・基礎的な技術、技法を学び、それらの知識を応用して自らのイメージを具現化する力をつける。
- ・観察力を養い、観察に基づいた自分らしい表現方法を模索する。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	鉛筆グラデーション 八角柱の立体表現を通して鉛筆の濃淡を楽しもう	絵画領域 ・絵を描く際の基本的な技術であるグラデーションを学び、芸術活動へ取り組む意識づけを行う。 ・描く事の基本である鉛筆になれ、光の方向や形、明暗を意識した創作活動の素地を身に付ける。 ・ティッシュや指で擦るなど道具や技法の工夫を通して美術を楽しむ情操を育む。
6	静物画 身近な物を 2 つ以上選び静物画を描いてみよう	絵画領域 ・観察する力を養うことで美術的視点を学び鑑賞力を見につける。 ・形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を活かして表す。 ・モチーフを基に形や色彩、質感などの効果を考え、後送を練ったり鑑賞したりする。 ・身近な物の特徴や美しさを捉える創作活動に主体的に取り組む。
7	レタリング 明朝体かゴシック体のいずれかを選び、自分の名前レタリングしてみよう	デザイン領域 ・観察を基にフォントの特徴を発見し、デザインされた文字の成り立ちを知ることによって身近にあるデザインを意識する素地を身に付ける。 ・定規などの道具を活用しフォントの特徴をふまえた作品を仕上げている。 ・レタリングの創作活動に主体的に取り組む。
10	キャラクターデザイン ひゅーにゃんの友だちをテーマにキャラクターデザインをしよう	デザイン領域 ・身近なデザインであるキャラクターデザインを通して目的と効果を意識した創作活動を学ぶ。 ・伝えたい情報や使われる場面を基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ・伝えたい情報やイメージキャラクターとして豊かに表す創作活動に主体的に取り組む。
11	4コマ漫画 4コマ漫画を作ろう	映像メディア領域 ・これまで学んだ絵画とデザインの両方の表現方法を活用した時間経過の表現を学ぶ。 ・漫画表現に興味・関心を持ち、構想を練ることができた。 ・道具を活用し特性を生かした表現ができています。 ・漫画表現の良さを生かして表す創作活動に主体的に取り組む。

月	単元名	学習内容
12	美術史 西洋の美術史と日本の美術史から作品を選び調べ学習を通して知識を養い、展示会を調べることで美術文化への興味を高める。	鑑賞 ・美術の歴史から文化の発展を知り、作品の作風や歴史的背景を学ぶ。 ・歴史的背景や作者について調べたことから作者の工夫、制作意図などについて考える。 ・美術作品の美しさを鑑賞する創作活動に主体的に取り組む。

【外国語】 英語コミュニケーションⅠ 年間学習指導計画

教科書	「All Aboard! English Communication I」(CI701)	単位数	3単位
	「All Aboard! English Communication I ワークブック」 (東京書籍)	学科・年次	普通科 1年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Warm-Up 2 教室で使う表現 Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko Pre-Lesson 2 I Like Junk Food! Communication 1 自己紹介 Lesson 1 Breakfast around the World	[題材内容] 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 [言語材料] be 動詞 [言語材料] 一般動詞 [言語活動] 自己紹介をする。 [題材内容] 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。 [言語材料] 過去形 [言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べることができる。
6	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas 文法のまとめ 1 Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	[題材内容] オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。 [言語材料] 進行形: <be 動詞+動詞の-ing 形> [言語活動] 好きな動物について、英語で述べることができる。 [言語材料] be 動詞と一般動詞/否定文と疑問文 /過去形/進行形 [題材内容] 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。 [言語材料] 助動詞: can, will

月	単元名	学習内容
		[言語活動] ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。
7	Lesson 4 A Miracle Mirror	[題材内容] 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。 [言語材料] to 不定詞:〈to+動詞の原形〉 [言語活動] 行ってみたい場所について、英語で述べることができる。
10	Lesson 5 Learning from the Sea 英文のしくみ 2 Reading 1 Short Stories in English Extra Target 2 〇〇が・・・するのを見た Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	[言語材料] 主語+動詞+目的語+目的語 [題材内容] 3つのショートストーリーを読み、それぞれの場面や心情を読み取ってユーモアを理解する。 [言語活動] 登場人物の気持ちを考えながらペアになって音読する。 [言語材料] 知覚動詞 [言語活動] 最近見たり聞いたりしたことについて表現する。 [題材内容] 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 [言語材料] 受け身:〈be 動詞+過去分詞〉 [言語活動] 好きな絵について、英語で述べることができる。
11	Lesson 7 A Diary of Hope	[題材内容] アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 [言語材料] 比較表現:〈-er〉〈the -est〉〈as+原級+as〉 [言語活動] 関心のある人物について、英語で説明することができる。
12	Lesson 8 A Door to a New Life Lesson 9 Fighting Plastic Pollution Lesson 10 Pigs from across the Sea Reading 2 The Wizard of Oz Extra Target 3 もし私が〇〇なら...	[題材内容] ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。 [言語材料] 現在完了形:〈have[has]+過去分詞〉 [言語活動] 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 [題材内容] プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。 [言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞

月	単元名	学習内容
	文法のまとめ 4	<p>[言語活動] 環境を守るためにできることについて、英語で述べるができる。</p> <p>[題材内容] 第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞: who, which</p> <p>[言語活動] 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。</p> <p>[題材内容] 家ごと大竜巻に飛ばされて不思議なオズの国に降り立ったドロシーと愛犬のトトが、自分の家にたどりつくまでの冒険物語を読み、場面や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら音読する。</p> <p>[言語材料] 仮定法過去: <If+過去形の文, I would ….></p> <p>[言語活動] 「もし私が〇〇なら…」と想像して、しようと思うこと・できることについて、ペアになって対話をする。</p> <p>[言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞／関係詞／句読法</p>

【外国語】 英語コミュニケーションⅡ 年間学習指導計画

教科書	「All Aboard! English Communication II 」(CⅡ701)	単位数	4単位
	「All Aboard! English Communication II ワークブック」 (東京書籍)	学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles	<p>[題材内容] イタリアのプラーノ島への旅行を報告する SNS を通して、その島の特色について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞: what</p> <p>[言語活動] 海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。</p> <p>[題材内容] 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。</p> <p>[言語材料] 比較表現: more, the most</p> <p>[言語活動] 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べることができる。</p>
6	Lesson 3 Wild Men 文法のまとめ 1 Lesson 4 Little Hero Word Box 2 A Day in English : Part 1	<p>[題材内容] ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。</p> <p>[言語材料] it の用法</p> <p>[言語活動] 身近な行事について、英語で紹介することができる。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞／比較表現／it の用法</p> <p>[題材内容] 世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリの物語を通して、不断の努力と不屈の心について考える。</p> <p>[言語材料] 間接疑問文</p>

月	単元名	学習内容
		<p>[言語活動] 自分の好きな物語を英語で紹介することができる。</p> <p>[題材内容] 平日の生活でよく使われる語句や表現を学習する。</p> <p>[言語活動] 登校する日の出来事について、英語で表現して発表する。</p>
7	<p>Lesson 5 Special Makeup in Kabuki</p> <p>Word Box 3 The Body and Clothes Reading 1 Mujina</p>	<p>[題材内容] 日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。</p> <p>[言語材料] to 不定詞を含む表現</p> <p>[言語活動] 日本の伝統文化について、英語で説明することができる。</p> <p>[題材内容] 身体の各部分や衣服・アクセサリなどを表す語句を学習する。</p> <p>[言語活動] 身体の各部分や衣服・アクセサリなどを表す語句を用いて、ふだん着ているものについて英語で対話する。</p> <p>[題材内容] 江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 情景や登場人物の心情を想像しながら、怪談を題材にした物語を暗唱する。</p>
10	<p>Lesson 6 Seeds for Future Generations</p> <p>Word Box 4 Various Jobs</p> <p>Lesson 7 Over the Wall</p> <p>Communication 2 入国審査</p>	<p>[題材内容] 海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。</p> <p>[言語材料] 動詞の目的語になる if 節</p> <p>[言語活動] 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。</p> <p>[題材内容] 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を学習する。</p> <p>[言語活動] 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由を述べる。</p> <p>[題材内容] 世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係副詞: where, when</p> <p>[言語活動] 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。</p> <p>[言語活動] 海外旅行先の空港での入国審査においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。</p>
11	<p>Lesson 8 Inspiration from Nature</p>	<p>[題材内容] 生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。</p>

月	単元名	学習内容
	文法のまとめ 3 Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 文法のまとめ 4	[言語材料] 知覚動詞 [言語活動] 自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。 [言語材料] 動詞の目的語になる if 節／関係副詞／知覚動詞 [題材内容] チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の 実態と児童労働及びその解決策について学習する。 [言語材料] 使役動詞 [言語活動] 社会的な問題について、英語で意見を述べることができる。 [言語材料] 使役動詞／分詞構文
12	Lesson 10 Fighting Angel Reading 2 Bear's Pie Word Box 5 A Day in English :Part 2	[題材内容] 医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について学習 する。 [言語材料] 分詞構文 [言語活動] 人を助ける職業について、英語で説明することができる。 [題材内容] 「アメリカで、ある小さなレストランを営む夫婦には、10 年前に家を出た 息子がいた」という内容の朗読劇の結末を考えて、それを演じる。 [言語活動] 登場人物の気持ちを考えながら朗読劇を演じて発表する。 [題材内容] 平日の生活でよく使われる語句や表現を学習する。 [言語活動] 登校する日の行動について、英語で表現する。

【外国語】 英語コミュニケーションⅢ 年間学習指導計画

教科書	「All Aboard! English Communication Ⅲ」(CⅢ701)	単位数	4単位
	「All Aboard! English Communication Ⅲ ワークブック」 (東京書籍)	学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	Lesson 1 Gifts to Barcelona Lesson 2 Akkamui	<p>[題材内容] ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおける、その意味について学習する。</p> <p>[言語材料] to 不定詞／動名詞</p> <p>[言語活動] 建築物について、英語で紹介することができる。</p> <p>[題材内容] 北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。</p> <p>[言語材料] 現在完了形</p> <p>[言語活動] 生き物の特徴について、英語で説明することができる。</p>
6	Lesson 3 Your True Colors Lesson 4 Our Future Food?	<p>[題材内容] 衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。</p> <p>[言語材料] 使役動詞</p> <p>[言語活動] ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。</p> <p>[題材内容] コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して、食糧問題について学習する。</p> <p>[言語材料] 受け身</p> <p>[言語活動] 食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。</p>
7	Lesson 5	[題材内容]

月	単元名	学習内容
	Madagascar Reading 1 The Fun They Had	<p>マダガスカルの自然と人々の生活を通して、地球環境や生態系について考える。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞</p> <p>[言語活動] 地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。</p> <p>[題材内容] 未来の機械化された学校と生徒の日常生活についての物語を読み、各場面の状況と登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら、やや複雑な構造の物語を音読する。</p>
10	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors Lesson 7 Green Challenges	<p>[題材内容] 古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞 (who, which) の非制限用法</p> <p>[言語活動] 訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>[題材内容] 地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、エネルギー問題とその解決策について学習する。</p> <p>[言語材料] 比較表現</p> <p>[言語活動] 再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。</p>
11	Lesson 8 Witnesses of War Lesson 9 The Wonders of Lightning Extra Target 1 過去完了形・ 過去完了進行形 Extra Target 2 無生物主語	<p>[題材内容] 原爆投下により被爆した広島路面電車とその運転士だった女子生徒の経験を通して、平和の大切さについて考える。</p> <p>[言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞</p> <p>[言語活動] 経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。</p> <p>[題材内容] 海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについて学習する。</p> <p>[言語材料] 仮定法過去</p> <p>[言語活動] 電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。</p> <p>[言語材料] 過去完了形／過去完了進行形</p> <p>[言語活動] 部屋で起こったと思われることを過去完了形を用いて説明する。 ある動作がずっと継続していたことを過去完了進行形を用いて説明する。</p>

月	単元名	学習内容
		<p>[言語材料] 無生物主語</p> <p>[言語活動] 無生物主語を用いて英語らしい表現に書き換えたり, 英文を完成させたりする。</p>
12	<p>Lesson 10 Katherine's Long Journey</p> <p>Reading 2 Table for Two</p>	<p>[題材内容] 人種差別の壁を越えて, 米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者, キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。</p> <p>[言語材料] 関係代名詞 whose</p> <p>[言語活動] 社会に影響を与えた人物について, 英語でエッセイを書くことができる。</p> <p>[題材内容] ディケンズの本に導かれたような, 若い男女の2度の巡り会いの物語を読んで, 各場面の状況や登場人物の心情を読み取る。</p> <p>[言語活動] 各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら音読する。</p>

【外国語】 英語検定 年間学習指導計画

教科書	高校英文法をひとつひとつわかりやすく/学研プラス	単位数	4単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。
2. 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。
3. 話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。
4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	英語の基本ルール	<p>[題材内容] 英語の基本ルールについて学ぶ。</p> <p>[言語材料] 品詞 / 主語 / 述語動詞 / 目的語 / 補語 / 修飾語 / 文 / 句 / 節 / 名詞の種類 / 代名詞の種類 / 動詞の種類 / 主述の一致</p> <p>[題材内容] 英語の基本ルールについて学ぶ。</p> <p>[言語材料] 動詞の原形・現在形・過去形・過去分詞形 / 一般動詞の ing 形 / be 動詞の変形 / 肯定文 / 否定文 / 疑問文 / 命令文 / 感嘆文 / 疑問詞</p>
6	前置詞の用法・英語の基本文型 時制	<p>[題材内容] 前置詞・英語の基本文型について学ぶ。時制について学ぶ①</p> <p>[言語材料] 前置詞 / 基本文型 / 否定文 / 疑問文 / 現在形</p> <p>[題材内容] 時制について学ぶ②</p> <p>[言語材料] 過去形 / 未来を表す表現 / 現在完了形 / 過去完了形 / 未来完了形 / 完了形の用法</p>
7	進行形の用法 受動態の用法 助動詞の用法	<p>[題材内容] 進行形の用法について学ぶ。</p> <p>[言語材料] 現在進行形 / 過去進行形 / 未来進行形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来完了進行形</p> <p>[題材内容] 受動態の用法・助動詞の用法について学ぶ。</p> <p>[言語材料] SVOO・SVOC の受動態 / 進行形と完了形の受動態 / 助動詞の肯定文・否定文・疑問文</p>
10	準動詞① 不定詞の用法	<p>[題材内容] 不定詞の用法・動名詞の用法・不定詞と動名詞のちがいについて学</p>

月	単元名	学習内容
	動名詞の用法 準動詞② 分詞の用法	ぶ。 [言語材料] 不定詞 / 原形不定詞 / 不定詞の否定形・進行形 / 独立不定詞 / 完了不定詞 / 不定詞の受動態 / 動名詞 / 動名詞の否定形・完了形・受動態 [題材内容] 分詞の用法について学ぶ。 [言語材料] 現在分詞 / 過去分詞 / 分詞構文
11	仮定法 比較表現 関係詞の用法	[題材内容] 仮定法、比較表現について学ぶ。 [言語材料] 仮定法過去 / 仮定法過去完了 / 仮定法未来 原級 / 比較級 / 最上級 [題材内容] 関係詞の用法、関係代名詞と関係副詞のちがいについて学ぶ。 [言語材料] 関係代名詞 / 関係副詞 / 複合関係詞
12	接続詞 その他重要構文 その他重要表現 リスニング・ライティング練習	[題材内容] 接続詞、その他重要構文、その他重要表現について学ぶ。 [言語材料] 接続詞 / 強調構文 / 形式主語・形式目的語構文 [題材内容] リスニング: 英語の音声を聴いて、読まれる内容を選ぶことができる。 リーディング: Eメールの内容を理解することができる。 ライティング: 質問に対する答えを、選択肢から選び、自分の好みや予定について英語で書くことができる。 [言語材料] 間接疑問文 / 疑問詞 + to + 動詞の原形 / 時制の一致 / 話法

【家庭】 家庭基礎 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「家庭基礎」(東書 家基 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる 第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。 ・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。 ・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造するにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。
6	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境 第4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 ・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。 ・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・子どもや子育てに対する理解を深めるために、子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。 ・超高齢社会の背景を理解する。 ・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのよ

月	単元名	学習内容
	3 これからの超高齢社会 第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	うな支援が必要か、考える。 ・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。 ・高齢期を支える社会の仕組みや課題について考える。 ・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。 ・超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。 ・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。 ・私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて、個人や地域はどのような役割を果たし、つながっていけばよいか、考えて実践しようとする。
7	第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食品の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。 ・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 ・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。 ・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心を持つ。 ・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。 ・世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。 ・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。
10	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 ・用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 ・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。 ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 ・手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。

月	単元名	学習内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した衣生活について考え,実践できる力を身につけるために,被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する。 ・現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために,日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り,日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。 ・次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために,資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。 ・全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。
11	<p>第8章 住生活をつくる</p> <p>1 住生活の変遷と住居の機能</p> <p>2 安全で快適な住生活の計画</p> <p>3 住生活の文化と知恵</p> <p>4 これからの住生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通した住生活について考え,将来に向けて自立するために,私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 ・自らの住生活に生かすことができるよう,防災,日照,換気などに関する環境性能について理解を深め,快適かつ健康,安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。 ・日本の住文化の継承・創造に寄与するために,気候や風土の違い,時代の変化によって,大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ・持続可能な住居や,自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり,まちづくりの担い手になるために,環境に配慮した住生活について理解する。
12	<p>第9章 経済生活を営む</p> <p>1 情報の収集・比較と意思決定</p> <p>2 購入・支払いのルールと方法</p> <p>3 消費者の権利と責任</p> <p>4 生涯の経済生活を見通す</p> <p>5 これからの経済生活</p> <p>第10章 持続可能な生活を営む</p> <p>1 持続可能な社会を目指して</p> <p>第11章 これからの生活を創造する</p> <p>1 生活をデザインする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立した責任ある消費者として,よりよい意思決定ができるよう,現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 ・毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。 ・販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう,契約の重要性について理解する。 ・消費者には権利と責任があることを理解する。 ・消費者問題を予防し適切に対応できるよう,消費者保護制度について理解する。 ・消費者の権利と責任の変遷を踏まえて,どうすれば消費者市民社会が実現できるか考えて実践しようとする。 ・生涯安定した経済生活を営めるように,経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。 ・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため,家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。 ・どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。 ・持続可能な社会を構築するために,持続可能な消費や生活について理解し,ライフスタイルを工夫する。 ・一人の主体者として,社会全体をよりよい方向に動かしていこうとする。 ・人生の目標を達成し,自分らしい生活が実現できるよう,各ライフステージの課題や生活資源,リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 ・これから持続可能な社会を構築していくために,何ができるか考えて実践しようとする。

【情報】 情報 I 年間学習指導計画

教科書	東京書籍「新編 情報 I」(東書 情 I 701)	単位数	2単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

- | |
|---|
| <p>①大量の情報の中から情報の真偽を正しく判断し、自分に必要な情報を選択する力を身につけるために必要な、基礎的な知識を習得する。(情報の評価、判断力、情報収集・選択能力)</p> <p>②情報化の進む社会に積極的に参画するために、正しい情報モラルを身につける。</p> |
|---|

2 学習計画

月	単元名	学習内容
5	1章 情報で問題を解決する 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ 3 発想法 4 情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の特性から、情報とは何か理解できる。 ・さまざまなメディアの特性を理解する。 ・問題を発見・解決するための一連の流れを理解できる。 ・粘り強く、多様な意見をまとめようとしている。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。
6	1 個人情報の流出 2 著作権 3 情報技術の発展 4 よりよい情報社会へ 5 章末資料	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報とはどのようなものか理解する。 ・SNSを通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習する。 ・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。 ・情報通信技術の発達による社会の変化や新たな課題について理解する。
7	2章 情報を伝える 1 コミュニケーション手段の変化 2 ネットコミュニケーションの特徴 3 デジタルの世界へ 3 数値と文字のデジタル表現 4 色と動画のデジタル表現 5 色と動画のデジタル表現 6 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのメディアの特徴について理解している。 ・ネットコミュニケーションの特徴である記録性や匿名性について学習する。 ・2進法と情報の単位について学習する。 ・文字のデジタル表現について学習する。 ・音、画像、動画のデジタル化について学習する。 ・情報デザインとは何か学習する。 ・情報デザインの方法である抽象化、可視化、構造化を理解する。 ・身近にある情報デザインの例を抽象化、可視化、構造化に分類することができる。
10	3章 コンピュータを活用する 1 コンピュータとは何か 2 ソフトウェアの仕組み 3 アルゴリズムの表現 4 アルゴリズムの表現 5 プログラムの基本構成 6 発展的なプログラム 2	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本構成について理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアの仕組みについて理解する。 ・プログラムがどのような命令で構成されているか理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習する。 ・プログラムの作り方について学習する。 ・プログラムの制御構造について学習する。 ・生活の中のシミュレーションの事例を学習する。

月	単元名	学習内容
	7 モデル化とシミュレーション	
11	4章 データを活用する 1 ネットワークとインターネット 2 インターネットの仕組み 3 インターネット上のサービス 4 情報セキュリティ 5 データベースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークの基本的な構成について学習する。 ・インターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・WWW について理解する。 ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機密性, 完全性, 可用性について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。
12	6 データ分析の流れ 7 章末資料 5章 活動して提案する 1 章末資料 巻末 1 ファイル形式の種類と特徴 2 2進法の計算 3 ふりがなプログラミング手帳	<ul style="list-style-type: none"> ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・身体の一部を使って, 本人であることを確認する方法として生体認証がある事を学ぶ。 ・プログラム言語にはどんなものがあるか学ぶ。

【総合】 総合的な探究の時間 Ⅰ 年間学習指導計画

教科書	なし	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 Ⅰ年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

自分自身に関すること(自己理解、興味・関心等)をもとに、課題を立てることができる。

2 実施内容等

面接指導	面接指導施設 学習センター	3時間 ※	【オリエンテーション】 ①学習の到達目標を確認する。 ②適性検査を実施する等。 【観察・実験・実習】(体験活動) 適性検査に基づく職業調査 等 【学習発表】(言語活動)
	メディア視聴	なし	
レポート		3枚	No.1 ヒューマンキャンパス高等学校を卒業するまでの目標 No.2 自分の好きをもっと知ろう No.3「関わり」について考えてみよう 課題に沿って自己でテーマを設定し、テーマについて自分自身で調べ、関連する資料を集め、整理し、テーマについて考察し、発表(レポートの形に仕上げる)する。

※ 実施内容の時間配分は、実施者の裁量とする。但し、面接指導を分割して実施する場合、1 単位時間(50 分)で設定する。

3 学習計画及び評価方法 等

学期	月	学習内容		
		レポート	面接指導	メディア視聴
前期	4		オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	
	5			
	6	レポートNo.1 提出		
	7			
	8			
後期	9			
	10	レポートNo.2 提出	オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	
	11			
	12	レポートNo.3 提出		
	1			
	2			
3		単位認定(通年履修・後期履修)		

【総合】 総合的な探究の時間Ⅱ 年間学習指導計画

教科書	なし	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 2年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自身でテーマ(課題)を設定し、探究することができる。

2 実施内容 等

面接指導	面接指導施設 学習センター	3時間 ※	【オリエンテーション】 ①学習の到達目標を確認する。 ②適性検査を実施する等。
			【観察・実験・実習】(体験活動) 適性検査に基づく職業調査 等 【学習発表】(言語活動)
	メディア視聴	3時間	メディアを通して、様々な職業を知る。 指定番組: 専門 ch・コミュニケーション『未来のための学び』 働く目的について考えよう・3月までのロードマップ UCC ジャパン株式会社 コーヒーの知識とサステナビリティの取り組み
	レポート	6枚	No.1 今年度の目標 No.2 適職診断 No.3 気になる職業の調査 No.4 身近な人の職業の調査 No.5 大人について No.6 本年度のふりかえり テーマについて自分自身で調べ、関連する資料を集め、整理し、テーマについて考察し、 発表(レポートの形に仕上げる)する。

※ 実施内容の時間配分は、実施者の裁量とする。但し、面接指導を分割して実施する場合、1 単位時間(50分)で設定する。

3 学習計画及び評価方法 等

学期	月	学習内容		
		レポート	面接指導	メディア視聴
前期	4		オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	
	5	レポートNo.1 提出		
	6	レポートNo.2 提出		視聴票 No.1 提出
	7	レポートNo.3 提出		
	8			
	9			
後期	10	レポートNo.4 提出	オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動) 等	視聴票 No.2 提出
	11	レポートNo.5 提出		
	12	レポートNo.6 提出		視聴票 No.3 提出
	1			
	2			
	3			単位認定(通年履修・後期履修)

【総合】 総合的な探究の時間Ⅲ 年間学習指導計画

教科書	なし	単位数	3単位
		学科・年次	普通科 3年次

評価方法	期末考査、各単元の評価問題プリント(レポート)、メディア視聴、提出状況 スクーリング出席・実習態度、提出状況
------	---

1 学習の到達目標

自己の進路について、現実的に検討、探究する機会を設定することができる。
自身でテーマ(課題)を設定し、探究することができる。

2 実施内容等

面接指導	面接指導施設 学習センター	3時間 ※	<p>【オリエンテーション】</p> <p>①学習の到達目標を確認する。 ②適性検査を実施する等。</p> <p>【観察・実験・実習】(体験活動) 適性検査に基づく職業調査等</p> <p>【学習発表】(言語活動)</p>
	メディア視聴	3時間	<p>メディアを通して、様々な職業を知る。</p> <p>指定番組: No.1(就職)就活スケジュール/求人票の見方(進学)進路を知るために自分を知らう/ 進学とは何か/入試の仕組み NO.2(就職)履歴書の書き方・面接について(進学)出願書類の注意点(志望理由書) No.3社会人のメイク・身だしなみ</p>
レポート		6枚	<p>No.1 主体的な進路決定に向けて No.2 適職診断 No.3 志望する進路先の調査 No.4 自分のことを相手に伝える No.5 社会との関わりについて No.6 本年度のふりか えり 自分自身で調べ、関連する資料を集め、整理・考察し、発表する(レポートの形に仕上げる)。</p>

※実施内容の時間配分は、実施者の裁量とする。但し、面接指導を分割して実施する場合、1単位時間(50分)で設定する。

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容		
		レポート	面接指導	メディア視聴
前期	4		オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動)等	
	5	レポートNo.1 提出		
	6	レポートNo.2 提出		視聴票 No.1 提出
	7	レポートNo.3 提出		
	8			
後期	9			
	10	レポートNo.4 提出	オリエンテーション 観察・実験・実習(体験活動) 学習発表(言語活動)等	視聴票 No.2 提出
	11	レポートNo.5 提出		
	12	レポートNo.6 提出		視聴票 No.3 提出
	1			
	2			
3		単位認定(通年履修・後期履修)		